

別添2. 修正 PDM (含むオリジナル PDM)

期間: 2001年5月15日 ~ 2006年5月14日
作成: 2004年12月7日

対象地域: 太湖とその流域
太湖流域への関係地帯(江蘇省環境科学研究所、無錫市環境科学研究所、無錫市環境保護局、無錫市環境監察測(チー・ワン)局)

上位目標 研究開発された太湖水環境修復技術が適用されることにより太湖への汚染、リンの流入負荷が削減される。	プロジェクトの要約	指標	指標データ入手手段	中国経済・財政状況が急転して悪化するようになるとはない。
<p>1. 分散型生活系排水対策のために高度処理浄化槽の適用化技術が開発される。</p> <p>2. 分散型生活系排水対策に有効な生徳工学浄化技術の活用に向けた情報が整理される。</p> <p>3. アオコ発生・制御のメカニズム把握に資する実験で研究成果が得られる。</p> <p>4. 研究開発された有効な適用技術が対象社会の中に認知される。</p>	<p>1. 開発された高度処理浄化槽の技術ガイドラインの完成度(監査・リンの除去率、安定性、経済性等)</p> <p>2. 関連行政機関・施設における、研究開発された対策技術(高度処理浄化槽と生徳工学浄化技術)の認知度(中国環境科学研究所、江蘇省環境科学研究所、無錫市環境科学研究所から発行される技術報告書等)</p> <p>1. 対象地域の社会に適合する高度処理浄化槽の技術ガイドラインと評価法が完成する。</p> <p>2.1 情報が整理された生徳工学技術の事例引用による評価</p> <p>2.2 情報が整理された生徳工学技術資料の整備度合い</p> <p>3. 学会発表・報告等の数、論文数</p> <p>4.1 関係機関・関係者への技術紹介及び環境教育の回数、参加人数及びそれに対する参加者の評価</p> <p>4.2 選定されたモデル区域における実用計画書の認知度</p>	<p>1.2.3.4 関係機関へのアンケート調査(各委員会の審議記録、専門家・C/Pが作成する進捗報告書、完丁報告書、成果の達成指標評価の記録/分析結果)</p> <p>4. 普及指導用資料・教材と配布記録及び各セミナー・シンポジウム等の総括報告書・記録</p> <p>参加者に対するアンケート調査</p> <p>実用化を促進するための関係政府文書</p>	<p>太湖流域への関係技術の普及と整備(データ及び効果分析)は江蘇省環境保護局(又は、太湖プロジェクト推進室)が作成する記録・報告書。</p> <p>1. 高度処理浄化槽の技術ガイドラインの評価表</p> <p>2. 中国環境科学研究所、江蘇省環境科学研究所、無錫市環境科学研究所から発行される技術報告書等</p>	<p>高度処理浄化槽の技術ガイドライン作成部署・組織の変更がない。</p> <p>太湖流域において、高度処理浄化槽を含む分散型高度汚水処理技術を普及・促進するための施策が講じられる。</p> <p>太湖水質浄化に関わる国・省・市の組織・人事に係る実施体制が適正に運用される。</p>
<p>活動</p> <p>1. 高度処理浄化槽の適用化技術開発</p> <p>1.1 分散型生活系排水の排出負荷特性の評価解析</p> <p>1.2 各種処理方式の性能比較調査・解析</p> <p>1.3 脱窒、脱リン・高度処理プラントの異態化試験による最適操作条件の技術開発</p> <p>1.4 開発された高度処理浄化槽の評価試験装置による性能解析・評価</p> <p>1.5 解析結果の技術ガイドライン化</p> <p>2. 生徳工学浄化技術の情報整理</p> <p>2.1 生徳工学浄化技術の情報収集</p> <p>2.2 微生物浄化を活用した処理技術の整理</p> <p>2.3 微生物浄化の技術資料を作成する</p> <p>3. マイクロコズムによる解析評価・技術開発</p> <p>3.1 アオコの発生・抑制とpH, N, P, 温度との関係のメカニズム解析</p> <p>3.2 アオコ発生・抑制のメカニズム把握に関する研究成果資料の作成</p> <p>4. 対策技術の普及活動</p> <p>4.1 関係機関・関係者(行政組織、主要施設管理者等)への技術紹介及び本プロジェクト関連事項の環境教育(セミナー、ワークショップ、シンポジウム、ホームページ、メディア広報等)</p> <p>4.2 開発された技術(高度処理浄化槽)の選定されたモデル区域での適用化計画作成</p> <p>4.3 太湖水環境修復のための関連プロジェクト調査・研究との係りと調整に関する検討と提案</p>	<p>投入</p> <p>中国側</p> <p>カウンタートン・パーソンの配置</p> <p>委員会・定例会議(合同調整委員会、運営委員会、ワーキンググループ定例会議)</p> <p>運営経費 年間80万円</p> <p>施設設備 研究実験地・実験室(必要な電力容量)、専門家執務室、太湖プロジェクト推進室、会議室</p> <p>その他 通訳、事務要員の配置</p>	<p>日本側</p> <p>長期専門家 2~4名</p> <p>短期専門家 年間6 ~ 15名</p> <p>研修員受入 年間2 ~ 6名</p> <p>機材供与 プロジェクトに必要な適正数量</p>	<p>太湖水質浄化に関わる国・省・市の組織・人事に係る実施体制が適正に運用される。</p>	<p>前提条件</p> <p>国家環境保護総局国際合作司により、このプロジェクトに対する調整を行う。</p>

3/27/2004

附巻6

プロジェクト名:太湖水環境保護モデル
プロジェクトデザイン マトリックス(PDM)

プロジェクトの要約 Narrative Summary	目標 Objectively Verifiable Indicators	入手手段 Means of Verification	外部条件 Important Assumption
<p>上位目標 Overall Goal</p> <ul style="list-style-type: none"> * 開発された太湖水環境保護技術が適用されることにより太湖への薬素、リンの流入負荷が削減される。 	<ul style="list-style-type: none"> * 開発された薬素、リンの高度処理技術が、中国太湖流域に普及するのを、2010年までに10%とする。 	<ul style="list-style-type: none"> * 太湖流域への閉鎖区画の普及と技術的支援(又は、太湖プロジェクト推進室)が作成される見込み報告書 	<ul style="list-style-type: none"> * 中国経済・財政状況が急転して悪化するようなことがない。
<p>プロジェクト目標 Project Purpose</p> <ul style="list-style-type: none"> * 太湖流域の分散発生源からの生活排水処理のために、対象地域の自然・社会・経済状況に適合しかつ活用・普及可能な対策技術が開発され、対象地域の社会に認知される。 	<ul style="list-style-type: none"> * 1. 開発された高度処理技術の技術ガイドラインの完成度(技術的完成度、経済性) * 2. 関連行政機関・施設における、開発された対象技術(高度処理浄化槽と生脱工業浄化技術)の認知度(江蘇省環境科学研究所、中国環境科学研究院、無錫市環境科学研究所から発行される技術報告書等) 	<ul style="list-style-type: none"> * 高度処理浄化槽の技術ガイドラインの作成部署・組織の変更がない。 * 開発された技術を浄化槽製造企業に普及・促進すること 	<ul style="list-style-type: none"> * 高度処理浄化槽の技術ガイドラインの作成部署・組織の変更がない。
<p>成果 Outputs</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 分散型生活系排水のために高度処理浄化槽の適用化技術が開発される。 2 分散型生活系排水に有効な生脱工業浄化技術の活用に向けた情報が整理される 3 アオコ発生・抑制のメカニズム把握に関する実験で研究成果が得られる。 4 開発された有効な適用技術が対象社会の中に認知され、普及される。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.1 対象地域の社会に適合する高度処理浄化槽の薬素、リン除去性能の所要の性能に対する満足度(含む費用の妥当性等) 1.2 対象地域の社会に適合する高度処理浄化槽の技術ガイドラインと評価法による課題(削減率・費用等) 1.3 生脱工業技術資料の技術的完成度 1.4 学会発表・報告等の数、論文数 1.5 関係機関・関係者への技術紹介及び環境教育の回数・参加人数及びそれに対する参加者の評価 1.6 開発されたモデル区域における適用計画書の認知 	<ol style="list-style-type: none"> 1.2.3.4 関係機関へのアンケート調査 1.2.3.4 各委員会の審議記録 1.2.3.4 専門家・O.P.が作成する進捗報告書・完了報告書 1.2.3.4 成果の達成指標評価の記録/分析結果 1.2.3.4 普及指導用資料・教材と配布記録及びセミナー・シンポジウム等の経過報告書・記録 1.2.3.4 参加者に対するアンケート調査 1.2.3.4 適用化を促進するための関係機関文書 	<ul style="list-style-type: none"> * 太湖水質浄化に関わる国・省・市の組織・人事に係る実施体制が適正に運用される。
<p>活動 Activities</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.1 高度処理浄化槽の適用化技術開発 1.2 分散型生活系排水の排出負荷特性の評価解析 1.3 各種処理方式の性能比較調査・解析 1.4 開発された高度処理浄化槽の詳細は試装置による性能解析・評価 1.5 解析結果の技術ガイドライン化 1.6 生脱工業浄化技術の情報整理 1.7 生脱工業浄化技術の基礎資料収集 1.8 生脱工業浄化槽の整理 1.9 太湖流域の技術的支援 1.10 アオコ発生・抑制のメカニズム把握に関する研究成果資料の作成 1.11 対象技術の普及活動 	<p>投入 Inputs</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国側 カウンターパートの配属 委員会 定例会議(合同調整委員会、運営委員会、ワーキンググループ定例会議) 運営経費 年間80万円 施設設備 研究実験地、実験室(必要な電力等)、専門家研修室、太湖プロジェクト推進室、会議室 その他 通訳、研修委員の配属 	<ul style="list-style-type: none"> * 太湖水質浄化に関わる国・省・市の組織・人事に係る実施体制が適正に運用される。 	<p>前置条件 Pre-conditions</p> <ul style="list-style-type: none"> * 日中友好環境保全センターは国家環境保護国際合作司の代案として、このプロジェクトに対する調査を行う。
<ol style="list-style-type: none"> 4.1 関係機関・関係者(行政機関、主要施設管理者等)への技術紹介及び本プロジェクト関連事項の環境教育(セミナー、ワークショップ、シンポジウム、ホームページ、メディア広報等) 4.2 開発された技術(高度処理浄化槽及び生脱工業による浄化)の選定されるモデル区域での適用化計画案作成 4.3 太湖水環境保護のための関連プロジェクト・調査・研究との係り・調整に関する良好な関係 	<ul style="list-style-type: none"> 長崎専門員 2~4名 短期専門員 年間5~15名 研修員受入 年間2~6名 	<ul style="list-style-type: none"> * 太湖水質浄化に関わる国・省・市の組織・人事に係る実施体制が適正に運用される。 	<p>前置条件 Pre-conditions</p> <ul style="list-style-type: none"> * 日中友好環境保全センターは国家環境保護国際合作司の代案として、このプロジェクトに対する調査を行う。

227
2004

太湖水環境修復モデルプロジェクトカウンターパート配置表

2004年12月

担当	中国環境科学研究院	江蘇省環境保護庁	無錫市環境保護局
実施責任者	孟 偉	朱 鉄軍	顧 崗
総務管理部	張 雨田	李 春才	林 琮
技術担当	金 相燦	黄 益斌	江 耀慈
1. 高度浄化処理槽の実用化技術開発		張 利民(*) 閔 毅梅 鄒 敏 姜 偉立	吳 志堅
1.1 分散型生活系排水の排出負荷特性の評価解析		鄒 敏 喻 学敏	張 虎軍(*)
1.2 各種処理方式の性能比較調査・解析	向 連城	鄒 敏(*) 涂 勇	吳 志堅
1.3 脱窒・脱リン高度処理プラントの実証試験による性能解析・評価	向 連城	鄒 敏(*) 梁 志冉 姜 偉立 黄 麗萍	顧 征帆
1.4 開発された高度処理浄化槽の評価・試験装置による性能解析・評価	蘇 一兵(*) 向 連城 孔 海南		黄 勇順
1.5 解析結果の技術ガイドライン化	向 連城 孔 海南	閔 毅梅(*) 鄒 敏	丁 建清
2. 生態工学浄化技術の情報整備	胡 小貞(*)	柏 仇勇	丁 建清
2.1 生態工学浄化技術の基礎資料収集	葉 春(*)	唐 松林 司 薇	石 浚哲
2.2 植生浄化を活用した処理技術の開発	葉 春(*)	唐 松林 厲以強	許 涛
2.3 開発された技術の技術資料を作成する	葉 春(*)	唐 松林 司 薇 厲以強	朱 文昌
3. マイクロコズム分野	儲 昭升(*)		
3.1 アオコの発生・抑制とpH, N, P, 温度との関係のメカニズム解析	儲 昭升(*) 龐 燕		
3.2 アオコ発生・抑制のメカニズム把握に関する研究成果資料の作成	儲 昭升(*) 龐 燕		
4. 対策技術の普及活動		陳 儉霖(*) 胡 去非	江 耀慈
4.1 関係機関・関係者(行政組織・主要施設管理者等)への技術紹介及び環境教育		胡 去非(*) 陳 儉霖	袁 斌偉
4.2 開発された技術(高度処理浄化槽及び生態工学による浄化)の選定されるモデル区域での実用化計画案作成		陳 儉霖 胡 去非 鄒 敏 姜 偉立	*袁 斌偉
4.3 太湖水環境修復のための関連プロジェクト、調査・研究との係わりと調整に関する検討と提案		陳 儉霖(*) 胡 去非	郜 銘

2. (参考) 2-1 技術紹介・環境教育実施一覧

技術紹介・環境教育実施一覧

	実施日	開催場所	参加者数	対象者	備考
1	2001年10月31日	無錫市錦江大酒店	108名	江蘇省、無錫市、蘇州市、鎮江市、陽市、金壇市、常州市、宜興市の環境行政関係者	第1回地域セミナー
2	2002年10月22日	無錫市錦江大酒店	125名	北京市、上海市、無錫市、蘇州市、鎮江市、淮安市、南通市、常州市、宜興市、江陰市の環境行政関係者と大学・研究機関	第2回地域セミナー
3	2003年11月26日	無錫市東林高等学校	45名	無錫市東林高等学校日本語専攻の高校1・2年生	
4	2003年11月27日	無錫市港麗酒店	110名		第3回地域セミナー
5	2004年8月2日	プロジェクト実験サイト・太湖	11名	「子どもと川とまちのフォーラム」(日本のNGO)	
6	2004年10月23日	プロジェクト実験サイト・太湖	12名	無錫市日本人会	
7	2004年10月28日	江蘇省環境科学研究所	12名	東南大学学生・教師、江蘇省環境科学研究所	
8	2004年11月1日	東南大学榴園賓館	111名	東南大学と南京大学の学生・教師、江蘇省環境行政機関、無錫市環境行政機関	第4回地域セミナー
9	2004年11月2日	南京大学知行楼	150名	南京大学学生・教師	
10	2004年11月4日	中国環境科学研究所	26名	中国環境科学研究所職員	
11	2004年11月4日	無錫市環境科学学会	22名	無錫市環境科学学会会員	

成果品リスト

	種類	タイトル	作成者(執筆者)	完成時期
1	論文集(中国語)	現場セミナー論文集	プロジェクト(各セミナー講師)	2001年10月31日
2	論文集(中国語)	現場セミナー論文集	プロジェクト(各セミナー講師)	2002年10月22日
3	論文集(中国語)	現場セミナー論文集	プロジェクト(各セミナー講師)	2003年11月27日
4	論文集(日本語)	現場セミナー論文集	プロジェクト(各セミナー講師)	2003年11月27日
5	論文集(中国語)	現場セミナー論文集	プロジェクト(各セミナー講師)	2004年11月1日
6	論文集(日本語)	現場セミナー論文集	プロジェクト(各セミナー講師)	2004年11月1日
7	雑誌(Lake and Reservoir)	Comprehensive Treatment Plan for Key-polluted Regions of Lake Taihu	金 相燦, 胡 小貞	2004年1月1日
8	雑誌(湖沼科学)	人工湿地の植物選択	金 相燦ほか	2004年1月1日
9	雑誌(環境汚染防止技術と設備)	湖沼水生植物再生物の選択と群生配置の分析	金 相燦ほか	2004年第8期
10	雑誌(環境科学)	五里湖の生態回復へ影響を与えるもの及びそれへの対策検討	金 相燦ほか	2004年第3期
11	雑誌(汚染防止・再生技術J)	中国で普及させる日本の浄化槽技術の今後について	関 毅梅	2003年第4期
12	同上	染色排水のオゾン酸化処理法	高 蓉菁	2003年第4期
13	雑誌(汚染防止技術)	巢湖流域の水質現状及び保護対策の調査研究に係わる報告	高 蓉菁	第16巻第3期
14	VCD	太湖は今	プロジェクト	2004年
15	HP	太湖水環境修復モデルプロジェクト	プロジェクト	2002年3月

注:このほかに中国環境科学研究院のカウンターパート投稿中の文章が7本有り

2-3 高度浄化処理槽の技術的な内容に係る講義実績

高度浄化処理槽の技術的な内容に係る講義

技術的な内容に係る講義を下記に示す内容で行なった。

1. 構造・機能に関する説明

場所：無錫

2. 設計基準に関する説明

場所：南京

3. 受講日・受講者

(2004年)

受講者	構造・機能	設計基準
姜偉立	6月22・23日	7月23日
俞学敏	7月13・14日	7月30日
梁志冉	7月27日	9月10日
涂勇 黄麗萍	8月24・25日	8月27日
高蓉菁	8月31日	9月3日

4. 講義内容

1) 構造・機能

- ① 装置の概要説明
- ② 試験現場において、構造機能の説明

2) 設計基準

- ① 設計計算書の説明
- ② 技術資料（参考文献等）の説明
- ③ 設計根拠に係わる説明

5. 結果

実証試験槽の基本的な構造・機能・設計に係わる講義は終了。
ついで、10月より現場にて運転に係わる実習予定。

中方のプロジェクト統括責任者への質問票(案)：中国太湖水環境修復モデルプロジェクト 運営指導調査(中間評価)－朱鉄軍

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	質問	ご回答	
実績	上位目標の達成度(見込み)	太湖流域への開発技術の普及整備率	普及整備率の計算式を教えてください。また、達成の見通しについてはいかがでしょうか？	高度処理浄化槽技術が各污水处理技術の10%を占める。	
		開発された高度処理浄化槽の技術ガイドラインの完成度(技術的完成度。経済性)	開発された技術が10%普及整備された場合、太湖への窒素、リンの流入負荷はどの程度削減される見通しでしょうか？	面源から窒素・リンの負荷がある程度削減される見込みがあり、浄化槽の除去率によって約6%の除去率に達す見込みがある。	
	プロジェクト目標の達成度(見込み)	開発された高度処理浄化槽の技術ガイドラインの完成度(技術的完成度。経済性)	「高度処理浄化槽の技術ガイドラインの評価表」は、いつ誰がどのようなものを作成するのでしょうか？それとも既存のものを利用するのでしょうか？その評価表を使って、実際にはどのように評価するのでしょうか？ガイドラインの完成度について、数量的に表現することは可能でしょうか？また、達成の見込みについてはいかががお考えですか？	評価表は浄化槽の運転が安定してから作成する。また中国のほかの污水处理装置の評価方を参考して作成する。技術ガイドラインの完成度について数量的に表示する必要がある。	
		対象地域の自然・社会・経済状況に適合しかつ活用・普及可能な対策技術	「対象地域の自然・社会・経済状況に適合しかつ活用・普及可能な対策技術」と言った場合に、これは浄化槽だけでなく生態工学浄化技術等との組合せを含めた対策技術モデル(群)の提示を意味しているのでしょうか？それとも、ほとんど浄化槽だけを意味しているのでしょうか？ 総合的に見て、「対象地域の自然・社会・経済状況に適合しかつ活用・普及可能な対策技術」の開発の見込みはいかがなんでしょうか？	このプロジェクトは、現在主として高度処理浄化槽のことである。 環境保全のニーズと投資者の意向によって、双方は共同で協力する。	
		関連行政機関・施設における、開発された対策技術(高度処理浄化槽と生態工学浄化技術)の認知度	「認知度」は何に関してどのような尺度で測ったらよいとお思いですか？数量的にはどのように表現されるでしょうか？また、達成の見込みについてはいかががお考えですか？	マスコミによる広報や技術研究を通して認知度を高めることをプロジェクト所在地の関係部門に提案する。	
		対象地域の社会に適合する高度処理浄化槽の窒素・リン除去性能の所要の性能に対する満足度(費用の妥当性等を含む)	開発された技術の性能及び費用の妥当性に関する分析結果を教えてください。費用に関しては普及可能な妥当なものになる見込みでしょうか？	現在のところでは完全に確認することができない。	
	成果(アウトプット)の達成度	成果1	その他のこのプロジェクトの浄化槽分野における技術開発の成果	その他のこのプロジェクトの浄化槽分野における技術開発の成果としてどのようなものがあるか、箇条書きで要点を教えてください。	例えば、土地の污水处理システム。
			情報が整理された生態工学技術の事例引用による評価(削減率・費用等)	生態工学技術の削減率・費用等に関する評価結果はいかがでしょうか？あるいはどのようなものになる見込みでしょうか？	現在試験の段階で予測できない。
		成果2	情報が整理された生態工学技術資料の整備度合い	生態工学技術資料はどの程度整備され、今後どの程度整備される見込みでしょうか？	2005年の下半期
			その他のこのプロジェクトの生態工学分野における資料収集・分析の成果	その他のこのプロジェクトの生態工学分野における資料収集・分析の成果があれば、箇条書きで要点を教えてください。	現在収集・整理中である。
		成果3	学会発表・報告書等の数、論文数	いくつかの達成が見込まれているのでしょうか？またその質についてはどのように評価されているのでしょうか(見込みも含めて)。	北京環科院の統計によって、今まで五つが発表された。
			その他のこのプロジェクトのマイクロコズム分野における研究成果	その他のこのプロジェクトのマイクロコズム分野における研究成果としてどのようなものがあるか、箇条書きで要点を教えてください。	マイクロコズムの手法を普及し、藍藻の発生と防止のメカニズムを研究する。

3 (参考) 質問票回答

評価項目	調査項目		必要な情報・データ	質問	ご回答	
実績	成果(アウトプット)の達成度	成果4	関係機関・関係者への技術紹介及び環境教育の回数、参加対象者と人数、及びそれに対する参加者の評価	これらに関する具体的な情報をまとめたものをください。	毎年1回セミナーを行い、環境保全の専門家と関係者が参加している。	
			その他のこのプロジェクトの技術普及活動分野における成果	その他のこのプロジェクトの技術普及活動分野における成果としてどのようなものがあるか、箇条書きで要点を教えてください。	まず特別の地域で浄化槽を普及する。例えば、観光地とホテル。	
	投入の実績	中国側	C/Pの配置	効率性の項で聞きます。		
			委員会・定例会議(合同調整委員会、運営委員会、ワーキンググループ定例会議)			
			運営経費			現在既にR/D議事録に要求された予算を超えた。
			施設設備(研究実験地、実験室(必要な電気容量)、専門家執務室、太湖プロジェクト推進室、会議室)			
			その他(通訳、事務要員の配置)			解決中である。
		日本側	長期専門家	効率性の項で聞きます。		
			短期専門家			
			研修員受入			
機材供与						
		現地コスト負担			予算を超えた。	
実施プロセス	活動の実施状況	協力実施のプロセス(計画立案段階及び実施段階)	活動の進捗において、遅れている活動とその理由、経緯、背景について教えてください。	設置方式(地上か、地下か)について半年で議論し、またSARSの影響もある。後半の進捗が順調である。		
		当初計画の変更点とその理由、背景	当初計画の変更点とその理由、背景を教えてください。	生態工学分野の湖中湖事業は取りやめになった。原因としては主に中国の国情に適合していない。植生水路事業は情報交流になった。		
		プロジェクトの進捗状況	「活動状況表」を作成いただいて、その上で質問させていただきます。			
	プロジェクトの運営・実施体制	プロジェクトの運営・実施体制とその意思決定過程、責任分担。それらの変更点(浄化槽、生態工学、マイクロゾウム、技術普及活動の各分野について)	運営・実施体制(日中友好環境保全センターも含む)とその役割・責任分担、意思決定過程について教えてください。当初計画との変更点は何でしょうか？また現在における問題点は何でしょうか？なぜ日中友好環境保全センターはこのプロジェクトにおいて機能していないのでしょうか？実施関係機関の間はどのようにすればよりうまく調整されるのでしょうか？	このプロジェクトに参加している機関が多く、調整に時間がかかる。予算の調整・解決などのことがある。		
	モニタリングの実施状況	モニタリングの仕組み	合同調整委員会や運営委員会、ワーキンググループ会議では、実際にどのようなことが問題点・課題として解決が図られたのでしょうか？	作業中の具体的な問題解決し、またプロジェクトの年度計画など方針を決めた。		
		外部条件の変化への対応	外部条件に変化があった場合に、どのように対応されてきたのでしょうか？	双方で協議の上で解決する。		
		フィードバックの状況	モニタリングに基づいて、問題は実際に解決しましたでしょうか？	大部分が解決された。		
JICA本部・在外事務所・国内支援組織の機能		それぞれ充分なプロジェクト支援機能を発揮していますでしょうか？	基本的に発揮した。			

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	質問	ご回答
実施プロセス	専門家間及びC/Pとの関係	コミュニケーションの状況	コミュニケーションは、何が問題で、その原因は何でしょうか？	観点の食い違いがあり、言葉が通じらないことも問題である。
	ターゲットグループの事業へのかかわり方	関係機関・関係者のプロジェクトにかかわる参加状況	C/Pは十分にプロジェクトに参加しておりますでしょうか？参加が充分でない場合、何が制約・阻害要因として考えられるでしょうか？	ほとんど参加している。主に予算の問題であり、また一部のC/Pは兼職している。
			プロジェクトはターゲットグループに対して充分な働きかけをしておりますでしょうか？働きかけが充分でない場合、何が制約・阻害要因として考えられるでしょうか？	ある程度働きかけをしている。主な制約要素としてはやはり予算の問題である。
	相手国実施機関の事業へのかかわり方	予算の手当て	国家環境保護総局、中国環境科学研究院、江蘇省環境保護庁、無錫環境保護局の参加の度合いはそれぞれいかがでしょうか？	江蘇省環保庁のプロジェクト設計部門の人はほとんど参加している。
			国家環境保護総局、中国環境科学研究院、江蘇省環境保護庁、無錫環境保護局の予算の手当ては充分でしょうか？実績額と今後の見通しも教えてください。	江蘇省側はR/Dに従って予算を出しており、実際には超えている。超えた部分について中日双方で負担すべきである。
			C/Pの適正度	国家環境保護総局、中国環境科学研究院、江蘇省環境保護庁、無錫環境保護局のC/Pの数および質は適正でしょうか？
1. 妥当性	上位目標及びプロジェクト目標の中国環境政策との整合性	中国環境政策との整合性	関連する環境政策の該当部分の原文及び可能であれば日本語訳をいただけますでしょうか？	日本側専門家に資料を適時に提供することができる。
	ターゲットグループの選定の適切さ	ターゲットグループにおけるプロジェクト内容に関するニーズの高さ	ターゲットグループにおいて、プロジェクト内容に関するニーズは高いでしょうか？どのようにターゲットグループのニーズとプロジェクト内容が整合しているか、あるいは整合していないか、教えてください。	中国側がずっと議事録と調整委員会の文章に従って作業を行っている。
		ターゲットグループの規模は適切か	ターゲットグループの規模は適切でしょうか？	大体適切である。
	上位目標と日本の開発援助政策との整合性	日本の国別援助方針(援助重点課題)、国別事業実施計画との関連性	—	あまり関連性がない。
	プロジェクトデザインの手段としての妥当性	プロジェクトの目的・対象・手段(活動)・指標・タイムスケジュールの適切さ	プロジェクトの目的・対象・手段(活動)・指標・タイムスケジュールにおいて、当初計画で適切さを欠いていたのは何でしょうか？	計画としては適切であるが、実際に実施する時意外のことがよくある。
		水環境の富栄養化防止のための他のモデル手法	中国における水環境の富栄養化防止のための他のモデル手法があれば、それと比較してこのプロジェクトデザインは妥当でしょうか？	中国においては他の関連プロジェクトも実施されているが、本プロジェクトと違う。
		他の援助機関との関係、先行している技術開発研究成果の活用	他の援助機関と協力し、先行している技術開発研究成果が活用できるようなプロジェクトの仕組みになっていますでしょうか？	ない。
		効果の受益や費用負担の公平さ	C/Pやターゲットグループにおいて、効果の受益や費用負担の公平さは保たれていますでしょうか？	ずっと調整しており、バランスを取れるように努力している。
		ターゲットグループ以外への波及性	開発する技術の普及可能性については、計画実施前に充分検討されていましたでしょうか？	検討したが、理解の差異がある。

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	質問	ご回答
1. 妥当性	プロジェクトデザインの手段としての妥当性	日本の技術の優位性	プロジェクト内容に関し、中国や諸外国と比較して日本の技術の優位性はありますか？生態工学の分野においては中国と比べてあまり比較優位がなかったということなのでしょうか？	日本の技術の優位性がある。特に生態分野にある。
2. 有効性	プロジェクト目標の達成度	実績の項と同じ		
	プロジェクト目標と成果の関連(各成果の貢献度合い)	高度処理浄化槽の実用化技術の開発のプロジェクト目標達成への貢献度	高度処理浄化槽の実用化技術の開発のプロジェクト目標達成への貢献度はいかがでしょうか？	
		生態工学浄化技術活用のための情報整理のプロジェクト目標達成への貢献度	生態工学浄化技術活用のための情報整理のプロジェクト目標達成への貢献度はいかがでしょうか？	双方の専門家より確認する。
		マイクロゾムの実験研究のプロジェクト目標達成への貢献度	マイクロゾムの実験研究のプロジェクト目標達成への貢献度はいかがでしょうか？	
		技術普及活動のプロジェクト目標達成への貢献度	技術普及活動のプロジェクト目標達成への貢献度はいかがでしょうか？	中国の国情に適合した技術を開発する。
外部条件等の影響	目標達成を妨げた要因、促進した要因	目標達成を妨げた要因、促進した要因にはどのようなものがあるでしょうか？	予算、また双方のコミュニケーションを強化すべである。	
3. 効率性	成果(アウトプット)の達成度	実績の項と同じ		
	日本側投入の適正度	専門家派遣(人数、タイミング、分野、人材の適正度)	専門家派遣はタイミング、分野、人材の適正度、引継ぎにおいてスムーズにいきましたでしょうか？	そう悪くない。
		供与機材(種類、数、タイミング、供与機材の適正度)	供与機材は種類、数、タイミング、供与機材の適正度において、スムーズにいきましたでしょうか？	普通。
		研修員受入れ(研修内容、人数、タイミング、研修員の能力やニーズ、プロジェクト内容との合致度)	研修員受入れは、研修内容、人数、タイミング、研修員の能力やニーズ、プロジェクト内容との合致度においてスムーズにいきましたでしょうか？	そう悪くない。
		調査団派遣(目的と活動、人数、タイミング)	調査団派遣はそれぞれの目的と活動、タイミングにおいてスムーズにいきましたでしょうか？	調査団はプロジェクトの推進により役割を発揮した。
		現地コスト(額、使途、タイミング)	現地コストは額、使途、タイミングにおいて、適切だったでしょうか？	日本側の予算と使用状況についてはよく知らない。
	中国側投入の適正度	C/Pの配置(人数、タイミング、分野、配置の適正度、配置された人材の適正度)	最新のC/Pの配置表をください。C/Pは、人数、タイミング、分野、人材の適正度において、配置が適切でしたでしょうか？また当初の配置と比べて変更があれば、どの部分がどのようにいつなぜ変更されたのかを教えてください。	配置が適正である。またプロジェクトの実際状況によって、双方協議の上で調整を行っている。
		委員会・定例会議(合同調整委員会、運営委員会、ワーキンググループ定例会議)	メンバー構成、開催日と開催回数、主要な協議・決定事項について、情報をまとめたものをください。	会議の議事録がある。
		プロジェクトのための経常費・研究費とその内訳	足りないのは主にどの部分で、いくらぐらいの不足なのでしょうか？今までの支出実績と今後の見通しも教えてください。	設備の維持間費用、運転費用である。江蘇省側は規定に基づき、経費をだしており、使われている。
		施設設備(研究実験地、実験室(必要な電気容量)、専門家執務室、太湖プロジェクト推進室、会議室)	必要充分でしょうか？	割に十分である。
その他(通訳、事務要員の配置)		なぜ十分な配置が得られていないのでしょうか？		

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	質問	ご回答
3. 効率性	投入の活用度	人材(特に帰国C/P研修員の動向、貢献度)	C/Pのプロジェクトへの協力の熱意や実際にそれに費やしている時間については、いかがお考えでしょうか？ 帰国C/P研修員の配置転換はありましたでしょうか？各研修員は、それぞれプロジェクトにおいて研修後どのように貢献していますでしょうか？	研修後全てプロジェクトに参加しており、プロジェクトのために貢献している。
		供与機材や施設設備の利用状況	供与機材や施設設備は、充分に利用されている／しているでしょうか？	合理的に利用されている
	コスト面での効率性	成果／コスト(投入)、プロジェクト目標の達成度／コスト(投入)	より低いコストで成果やプロジェクト目標を達成する代替手段はなかったでしょうか？あるいは、同じコストでより高い達成度を実現することは出来なかったでしょうか？	知らない。
		類似のプロジェクトのコスト面での効率性	成果とプロジェクト目標の達成度はコスト(投入)に見合っているでしょうか？それは他のドナーや中国政府の類似プロジェクトと比較してどうでしょうか？	見合っているだろう。
	外部条件、前提条件等の影響(成果達成を妨げた要因、成果達成を促進した要因)	成果達成を妨げた要因、促進した要因	成果達成を妨げた要因、促進した要因にはどのようなものがあるでしょうか？	プロジェクトの進捗が遅すぎる。
4. インパクト	上位目標の達成度	実績の項と同じ		
	正の影響(ターゲットグループ以外へのプロジェクトの投入・活動・成果等の便益の広がり、ターゲットグループへのプロジェクトの間接的な便益の広がり)	政策への影響	太湖水汚染防止5か年計画や2010年長期計画に対する技術的なサポートは、どの程度できる見込みでしょうか？また、その他の政策に正の影響を与える見込みはありますでしょうか？	浄化槽の技術大度ラインと開発・利用は非点源汚染対策の作成に積極的な役割がある。
		制度的影響	開発・提案する高度合併処理浄化槽および生態工学はどのように制度化(プロジェクトで提案された基準が省や全国単位で適用)される見通しでしょうか？	プロジェクトの目的は全国で適用すること。浄化槽は役割を發揮する。
		社会的影響	太湖周辺住民の水環境保全に対する意識および自発的な汚濁防止のための住民活動は、プロジェクトの影響で向上・促進しておりますでしょうか？その見通しはいかがででしょうか？また、太湖への窒素、リンの流入負荷が削減されることによって、地域住民にとってどのような裨益が期待されるのでしょうか？広報的な面で水環境保全の重要性と技術的な解決の取り組み、その可能性について広範に知らしめる見込みについてはいかがででしょうか？	周辺の住民からの反映がよく、日本の進んでいる技術に対する認知度を高めた。
		技術的影響	予想しなかった技術的なよい影響というのはありますでしょうか？	
		経済的影響	水質改善に伴う経済効果および現在の下水処理施設よりも安価な施設や設備が開発された場合の経済効果については、どの程度見込めますでしょうか？	社会的効果が著しい。
		組織的影響	実施組織の体制や研究活動の活発度への間接的影響や構築された人的ネットワークなどについてはいかがででしょうか？	

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	質問	ご回答
4. インパクト	予想しなかった負の影響	政策への影響、実施組織の体制や研究活動の活発度への間接的影響、ターゲットグループ以外へのプロジェクトの投入・活動・成果等の不利益や不公平さの広がりなど	予想しなかった政策への負の影響、実施組織の体制や研究活動の活発度への間接的な負の影響、ターゲットグループ以外へのプロジェクトの投入・活動・成果等の不利益や不公平さの広がりなどはありますか？今後ありうるでしょうか？	ない。
	外部条件等の影響	上位目標到達を妨げた要因、促進した要因	上位目標到達を妨げた要因、促進した要因にはどのようなものがあるでしょうか？	
	波及効果	他の水環境富栄養化防止への技術・情報等の波及	他の湖沼への普及や、経済基盤の弱い他の発展途上国に应用される見込みはいかがでしょうか？	可能性がある。
5. 自立発展性	政策的支援体制の整備	関連規制、法制度、監督組織、普及組織の整備状況	関連規制、法制度、監督組織、普及組織の整備状況と今後の見通しはいかがでしょうか？	比較的に楽観である。
		太湖水汚染防止5か年計画と2010年長期計画	太湖水汚染防止5か年計画と2010年長期計画は予定通り予算計上され、活動が行われているのでしょうか？その成果はいかがなんでしょうか？	実施中であり、成果を期待している。
	移転した技術の定着と活用の仕組み	C/Pの定着度	技術移転したC/Pの定着度についてはいかがでしょうか？	安定している
		施設・機材の維持管理費	機材を適切に維持管理していくために、センターには十分な能力は養成されましたでしょうか？	改善中である。
		移転した技術の定着と活用の仕組み	移転した技術の定着と活用の仕組みは充分整っているのでしょうか？	確立中である。
	開発された技術の普及・発展の可能性	技術的・経済的・社会的・文化的・環境的な側面からの普及可能性	技術的・経済的・社会的・文化的・環境的な側面からの普及可能性はいかがでしょうか？	見込みがいい。
		普及のメカニズムの確立の見通し	普及のメカニズムの確立の見通しはいかがでしょうか？	見込みがいい。
		浄化槽の製造企業の製造能力、実績	浄化槽の製造企業の製造能力、実績は、普及の一翼を担うに足るものでしょうか？	足りる。
	持続的効果	持続的効果の発現要因と阻害要因	その他、何か持続的効果の発現要因と阻害要因がありますでしょうか？	また観察する必要がある。

中方のプロジェクト統括責任者への質問票(案)：中国太湖水環境修復モデルプロジェクト 運営指導調査(中間評価)－孟院長

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	質問	ご回答	
実績	上位目標の達成度(見込み)	太湖流域への開発技術の普及整備率	普及整備率の計算式を教えてください。また、達成の見通しについてはいかがでしょうか？	高度処理浄化槽技術が各污水处理技術の10%を占める。	
		開発された高度処理浄化槽の技術ガイドラインの完成度(技術的完成度。経済性)	開発された技術が10%普及整備された場合、太湖への窒素、リンの流入負荷はどの程度削減される見通しでしょうか？	面源制御から、窒素・リンの負荷は約6%の削減ができると考えられるが、浄化槽の除去率によるもの。	
	プロジェクト目標の達成度(見込み)	開発された高度処理浄化槽の技術ガイドラインの完成度(技術的完成度。経済性)	「高度処理浄化槽の技術ガイドラインの評価表」は、いつ誰がどのようなものを作成するのでしょうか？それとも既存のものを利用するのでしょうか？その評価表を使って、実際にはどのように評価するのでしょうか？ガイドラインの完成度について、数量的に表現することは可能でしょうか？また、達成の見込みについてはいかががお考えですか？	この評価表はまだ作成されていない。浄化槽の運転が安定してそれについて取りまとめから作成し始め、評価表の内容については、中国で行っていたほかの污水处理装置に対する評価方を参考して作成する。この評価表に関しては数量的に表示する必要がある。	
		対象地域の自然・社会・経済状況に適合しかつ活用・普及可能な対策技術	「対象地域の自然・社会・経済状況に適合しかつ活用・普及可能な対策技術」と言った場合に、これは浄化槽だけでなく生態工学浄化技術等との組合せを含めた対策技術モデル(群)の提示を意味しているのでしょうか？それとも、ほとんど浄化槽だけを意味しているのでしょうか？	その通り。	
		関連行政機関・施設における、開発された対策技術(高度処理浄化槽と生態工学浄化技術)の認知度	総合的に見て、「対象地域の自然・社会・経済状況に適合しかつ活用・普及可能な対策技術」の開発の見込みはいかがなものでしょうか？	対象地域の発展と環境保全の全体要求に符合し、環境問題の解決の実際のニーズに応じ、また投資者の注目を集めることができるもの。	
		「認知度」は何に関してどのような尺度で測ったらよいとお思いますか？数量的にはどのように表現されるのでしょうか？また、達成の見込みについてはいかががお考えですか？	プロジェクトの関連機関に次のように提案する。モデル技術を展示するセミナーを行い、マスメディアの宣伝と大衆啓蒙の活動を通して認知度を表現する。		
	成果(アウトプット)の達成度	成果1	対象地域の社会に適合する高度処理浄化槽の窒素・リン除去性能の所要の性能に対する満足度(費用の妥当性等を含む)	開発された技術の性能及び費用の妥当性に関する分析結果を教えてください。費用に関しては普及可能な妥当なものになる見込みでしょうか？	はっきり確認していない。主な原因としては、性能評価装置がまだ導入されていないので、普及・促進にかかわる費用については目処が立たない。
			その他のこのプロジェクトの浄化槽分野における技術開発の成果	その他のこのプロジェクトの浄化槽分野における技術開発の成果としてどのようなものがあるか、箇条書きで要点を教えてください。	ここ数年、土地の污水处理システムが数多くの技術の中で益々重要な地位を占めている。
		成果2	情報が整理された生態工学技術の事例引用による評価(削減率・費用等)	生態工学技術の削減率・費用等に関する評価結果はいかがでしょうか？あるいはどのようなものになる見込みでしょうか？	中国側は日本側の評価結果を知り、日本においても実験段階であるので、今結論を出すのは時期尚早である。
			情報が整理された生態工学技術資料の整備度合い	生態工学技術資料はどの程度整備され、今後どの程度整備される見込みでしょうか？	来年の夏以降から整理が出来上がる見込みがある。
			その他のこのプロジェクトの生態工学分野における資料収集・分析の成果	その他のこのプロジェクトの生態工学分野における資料収集・分析の成果があれば、箇条書きで要点を教えてください。	まだ収集・整理していない。
		成果3	学会発表・報告書等の数、論文数	いくつの達成が見込まれているのでしょうか？またその質についてはどのように評価されているでしょうか(見込みも含めて)。	五つが発表され、八つが受理されまだ発表されていない。
			その他のこのプロジェクトのマイクロバブル分野における研究成果	その他のこのプロジェクトのマイクロバブル分野における研究成果としてどのようなものがあるか、箇条書きで要点を教えてください。	富栄養化の室内でのシミュレーション手法を普及させ、湖沼の藻類遷移の研究に成功した。

評価項目	調査項目		必要な情報・データ	質問	ご回答	
実績	成果(アウトプット)の達成度	成果4	関係機関・関係者への技術紹介及び環境教育の回数、参加対象者と人数、及びそれに対する参加者の評価	これらに関する具体的な情報をまとめたものをください。	4回にわたってセミナーを開催し、合計400人くらいが参加した。	
			その他のこのプロジェクトの技術普及活動分野における成果	その他のこのプロジェクトの技術普及活動分野における成果としてどのようなものがあるか、箇条書きで要点を教えてください。	ある地方の環保局は次のことについて認識が深まっている。1. 高速道路のサービスエリアや高速料金徴収ステーションで先ず浄化槽の設置ができる。2. 都市から離れている休養地でも設置できる。	
	投入の実績	中国側	C/Pの配置	効率性の項で聞きます。		
			委員会・定例会議(合同調整委員会、運営委員会、ワーキンググループ定例会議)			
			運営経費			当初の計画として、中国側は毎年80万の予算を負担することになっているが、実際には既にそれを超えている。
			施設設備(研究実験地、実験室(必要な電気容量)、専門家執務室、太湖プロジェクト推進室、会議室)			
		その他(通訳、事務要員の配置)		問題が存在している。		
		日本側	長期専門家	効率性の項で聞きます。		
			短期専門家			
			研修員受入			
機材供与						
		現地コスト負担			当初の予算を大幅に超えたことを予測しなかった。	
実施プロセス	活動の実施状況	協力実施のプロセス(計画立案段階及び実施段階)	活動の進捗において、遅れている活動とその理由、経緯、背景について教えてください。	12台の浄化槽の設置方式に関する検討は遅れた主な原因であり、次はSARSである。		
		当初計画の変更点とその理由、背景	当初計画の変更点とその理由、背景を教えてください。	湖中湖事業の取りやめる原因としては、洪水対策に衝突している。植生水路事業の内容をセミナーの方式に変更したのは日本側から提出し、中国側がそれ変更を認めた。原因としては、ここ数年中国が植生水路においてモデルプロジェクトをある程度やっているから。		
		プロジェクトの進捗状況	「活動状況表」を作成いただいて、その上で質問させていただきます。			
	プロジェクトの運営・実施体制	プロジェクトの運営・実施体制とその意思決定過程、責任分担。それらの変更点(浄化槽、生態工学、マイクロズム、技術普及活動の各分野について)	運営・実施体制(日中友好環境保全センターも含む)とその役割・責任分担、意思決定過程について教えてください。当初計画との変更点は何でしょうか？また現在における問題点は何でしょうか？なぜ日中友好環境保全センターはこのプロジェクトにおいて機能していないのでしょうか？実施関係機関の間はどのようにすればよりうまく調整されるのでしょうか？	運営・実施体制においては原則として変更がないが、参加機関が多いので、調整が難しい。プロジェクトの設計時、日中友好センターを窓口とすると日本側が提出したが、実際の運営において日中センターが如何に調整の役割を發揮するかについて具体的に明確しなかった。どこから調整にかかわる費用を出すかは問題になっている。		
モニタリングの実施状況	モニタリングの仕組み	合同調整委員会や運営委員会、ワーキンググループ会議では、実際にどのようなことが問題点・課題として解決が図られたのでしょうか？	主に課題に関する問題である。			
	外部条件の変化への対応	外部条件に変化があった場合に、どのように対応されてきたのでしょうか？	適時に調整した。			
	フィードバックの状況	モニタリングに基づいて、問題は実際に解決しましたでしょうか？	大部分は解決された。			
	JICA本部・在外事務所・国内支援組織の機能	それぞれ充分なプロジェクト支援機能を發揮していますでしょうか？	そうとは限らない			

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	質問	ご回答
実施プロセス	専門家間及びC/Pとの関係	コミュニケーションの状況	コミュニケーションは、何が問題で、その原因は何でしょうか？	言葉が通じらないことも問題である。
	ターゲットグループの事業へのかかわり方	関係機関・関係者のプロジェクトにかかわる参加状況	C/Pは十分にプロジェクトに参加しておりますでしょうか？参加が充分でない場合、何が制約・阻害要因として考えられるでしょうか？	そうではない。主に予算の問題で、個人の問題ではない。
			プロジェクトはターゲットグループに対して十分な働きかけをしておりますでしょうか？働きかけが充分でない場合、何が制約・阻害要因として考えられるでしょうか？	していると言える。しなかったのは、日本側が中国側への経費負担の要求が多すぎるのは予想しなかったから。
	相手国実施機関の事業へのかかわり方	予算の手当て	国家環境保護総局、中国環境科学研究院、江蘇省環境保護庁、無錫環境保護局の参加の度合いはそれぞれいかがでしょうか？	中国環境科学院の太湖プロジェクトに関係ある部門や関係者は全て参加している。
国家環境保護総局、中国環境科学研究院、江蘇省環境保護庁、無錫環境保護局の予算の手当ては充分でしょうか？実績額と今後の見通しも教えてください。			プロジェクトの三年目になり、中国側の予算は既に全部投入したことについて日本側が承知した。超えた部分については中日双方でそれぞれ50%を負担すべきである。	
C/Pの適正度			国家環境保護総局、中国環境科学研究院、江蘇省環境保護庁、無錫環境保護局のC/Pの数および質は適正でしょうか？	C/Pの配置が適切である。これは中日双方で認められたことである。
1. 妥当性	上位目標及びプロジェクト目標の中国環境政策との整合性	中国環境政策との整合性	関連する環境政策の該当部分の原文及び可能であれば日本語訳をいただけますでしょうか？	関連政策の言い方は大まかであり、少なくとも一部を入手できる。ただし、日本語のものがない。
	ターゲットグループの選定の適切さ	ターゲットグループにおけるプロジェクト内容に関するニーズの高さ	ターゲットグループにおいて、プロジェクト内容に関するニーズは高いでしょうか？どのようにターゲットグループのニーズとプロジェクト内容が整合しているか、あるいは整合していないか、教えてください。	この質問に理解できない。中国側はプロジェクトの文書・規定に基づき、事業を完成したいだけである。
		ターゲットグループの規模は適切か	ターゲットグループの規模は適切でしょうか？	適切ではないところがない。
	上位目標と日本の開発援助政策との整合性	日本の国別援助方針(援助重点課題)、国別事業実施計画との関連性	—	関連性が余りない。また、日本はほかの円状国のやり方と違って、附加条件が多すぎる。
	プロジェクトデザインの手段としての妥当性	プロジェクトの目的・対象・手段(活動)・指標・タイムスケジュールの適切さ	プロジェクトの目的・対象・手段(活動)・指標・タイムスケジュールにおいて、当初計画で適切さを欠いていたのは何でしょうか？	適切ではないところがない。表現が抽象的である。
		水環境の富栄養化防止のための他のモデル手法	中国における水環境の富栄養化防止のための他のモデル手法があれば、それと比較してこのプロジェクトデザインは妥当でしょうか？	ここ数年、中国において防止プロジェクトを研究と結びつけるプロジェクトが出ており、本プロジェクトと随分違う。
		他の援助機関との関係、先行している技術開発研究成果の活用	他の援助機関と協力し、先行している技術開発研究成果が活用できるようなプロジェクトの仕組みになっていますでしょうか？	なし。
		効果の受益や費用負担の公平さ	C/Pやターゲットグループにおいて、効果の受益や費用負担の公平さは保たれていますでしょうか？	公平しつつある。
ターゲットグループ以外への波及性	開発する技術の普及可能性については、計画実施前に充分検討されましたでしょうか？	した。ただし、一部の人事異動により理解の差異が出てきた。		

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	質問	ご回答
1. 妥当性	プロジェクトデザインの手段としての妥当性	日本の技術の優位性	プロジェクト内容に関し、中国や諸外国と比較して日本の技術の優位性はありますか？生態工学の分野においては中国と比べてあまり比較優位がなかったということなのでしょうか？	日本の技術は中国や諸外国と比較して優位性があるので、中国は日本の技術を導入したい。生態浄化の分野では日本はきっと中国より進んでいる。
2. 有効性	プロジェクト目標の達成度	実績の項と同じ		
	プロジェクト目標と成果の関連(各成果の貢献度合い)	高度処理浄化槽の実用化技術の開発のプロジェクト目標達成への貢献度	高度処理浄化槽の実用化技術の開発のプロジェクト目標達成への貢献度はいかがでしょうか？	浄化槽性能評価装置は技術開発に貢献できる。
		生態工学浄化技術活用のための情報整理のプロジェクト目標達成への貢献度	生態工学浄化技術活用のための情報整理のプロジェクト目標達成への貢献度はいかがでしょうか？	双方の関係専門家による確認する。
		マイクロゾムの実験研究のプロジェクト目標達成への貢献度	マイクロゾムの実験研究のプロジェクト目標達成への貢献度はいかがでしょうか？	プロジェクト実施中において日本側が器材の正常運転と改造を保証すべきである。
		技術普及活動のプロジェクト目標達成への貢献度	技術普及活動のプロジェクト目標達成への貢献度はいかがでしょうか？	先ず技術の開発が国情に適合すること。日本側は中国側にその法規の管理手法に関して技術移転を行うべきである。
外部条件等の影響	目標達成を妨げた要因、促進した要因	目標達成を妨げた要因、促進した要因にはどのようなものがあるでしょうか？	双方の誠意のない協議。	
3. 効率性	成果(アウトプット)の達成度	実績の項と同じ		
	日本側投入の適正度	専門家派遣(人数、タイミング、分野。人材の適正度)	専門家派遣はタイミング、分野、人材の適正度、引継ぎにおいてスムーズにいきましたでしょうか？	そう悪くない。
		供与機材(種類、数、タイミング。供与機材の適正度)	供与機材は種類、数、タイミング、供与機材の適正度において、スムーズにいきましたでしょうか？	そうではない。
		研修員受入れ(研修内容、人数、タイミング。研修員の能力やニーズ、プロジェクト内容との合致度)	研修員受入れは、研修内容、人数、タイミング。研修員の能力やニーズ、プロジェクト内容との合致度においてスムーズにいきましたでしょうか？	そう悪くない。
		調査団派遣(目的と活動、人数、タイミング)	調査団派遣はそれぞれの目的と活動、タイミングにおいてスムーズにいきましたでしょうか？	調査団はプロジェクトの推進により役割を發揮した。
		現地コスト(額、使途、タイミング)	現地コストは額、使途、タイミングにおいて、適切だったでしょうか？	日本側は今までプロジェクトに関する予算の使用状況を公開したことがないので、この質問について判断できない。
	中国側投入の適正度	C/Pの配置(人数、タイミング、分野。配置の適正度、配置された人材の適正度)	最新のC/Pの配置表をください。C/Pは、人数、タイミング、分野、人材の適正度において、配置が適切でしたでしょうか？また当初の配置と比べて変更があれば、どの部分がどのようにいつなぜ変更されたのかを教えてください。	C/Pリストは双方合意のもとで決めたので適正のはずである。地方による変更については環科院がしらない。
		委員会・定例会議(合同調整委員会、運営委員会、ワーキンググループ定例会議)	メンバー構成、開催日と開催回数、主要な協議・決定事項について、情報をまとめたものをください。	大事な会議は確認のために双方とも議事録を持っている。
		プロジェクトのための経常費・研究費とその内訳	足りないのは主にどの部分で、いくらぐらいの不足なのでしょうか？今までの支出実績と今後の見通しも教えてください。	器材の維持管理費用、人件費。環科院は日本側が承知したように既に200万円を使い終わった。
		施設設備(研究実験地、実験室(必要な電気容量)、専門家執務室、太湖プロジェクト推進室、会議室)	必要充分でしょうか？	結構である。

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	質問	ご回答
3. 効率性	中国側投入の適正度	その他(通訳、事務要員の配置)	なぜ十分な配置が得られていないのでしょうか？	
	投入の活用度	人材(特に帰国C/P研修員の動向、貢献度)	C/Pのプロジェクトへの協力の熱意や実際にそれに費やしている時間については、いかがお考えでしょうか？	
			帰国C/P研修員の配置転換はありましたでしょうか？各研修員は、それぞれプロジェクトにおいて研修後どのように貢献していますでしょうか？	変更なし。
	コスト面での効率性	成果/コスト(投入)、プロジェクト目標の達成度/コスト(投入)	より低いコストで成果やプロジェクト目標を達成する代替手段はなかったでしょうか？あるいは、同じコストでより高い達成度を実現することは出来なかったでしょうか？	見たことがない。あるはず。
		類似のプロジェクトのコスト面での効率性	成果とプロジェクト目標の達成度はコスト(投入)に見合っているでしょうか？それは他のドナーや中国政府の類似プロジェクトと比較してどうでしょうか？	見合っている。ただし、本プロジェクトは他のプロジェクトと比べることができない。他のプロジェクトのやり方は日本と違うから。
	外部条件、前提条件等の影響(成果達成を妨げた要因、成果達成を促進した要因)	成果達成を妨げた要因、促進した要因	成果達成を妨げた要因、促進した要因にはどのようなものがあるでしょうか？	プロジェクトの遅れである。実施の進捗を速めるべきである。
4. インパクト	上位目標の達成度	実績の項と同じ		
	正の影響(ターゲットグループ以外へのプロジェクトの投入・活動・成果等の便益の広がり、ターゲットグループへのプロジェクトの間接的な便益の広がり)	政策への影響	太湖水汚染防止5ヵ年計画や2010年長期計画に対する技術的なサポートは、どの程度できる見込みでしょうか？また、その他の政策に正の影響を与える見込みはありますか？	本プロジェクトのことであれば、浄化槽技術や管理手法は中国における非点源汚染の制御にかかわる政策策定に貢献できる。
		制度的影響	開発・提案する高度合併処理浄化槽および生態工学はどのように制度化(プロジェクトで提案された基準が省や全国単位で適用)される見込みでしょうか？	浄化槽の役割が一番大きい。プロジェクトの目的は全国範囲で適用すべきである。
		社会的影響	太湖周辺住民の水環境保全に対する意識および自発的な汚濁防止のための住民活動は、プロジェクトの影響で向上・促進しておりますでしょうか？その見通しはいかがでしょうか？また、太湖への窒素、リンの流入負荷が削減されることによって、地域住民にとってどのような裨益が期待されるのでしょうか？広報的な面で水環境保全の重要性と技術的な解決の取り組み、その可能性について広範に知らしめる見込みについてはいかがでしょうか？	その通り。12台の浄化槽が運転されてから、多くの人が日本の技術を賞賛している。
		技術的影響	予想しなかった技術的なよい影響というのはありますか？	まだ発見していない。
		経済的影響	水質改善に伴う経済効果および現在の下水処理施設よりも安価な施設や設備が開発された場合の経済効果については、どの程度見込めますでしょうか？	社会的利益が明らかに分かることであり、経済的利益については量り難い。

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	質問	ご回答
4. インパクト	正の影響(ターゲットグループ以外へのプロジェクトの投入・活動・成果等の便益の広がり、ターゲットグループへのプロジェクトの間接的な便益の広がり)	組織的影響	実施組織の体制や研究活動の活発度への間接的影響や構築された人的ネットワークなどについてはいかがでしょうか？	
	予想しなかった負の影響	政策への影響、実施組織の体制や研究活動の活発度への間接的影響、ターゲットグループ以外へのプロジェクトの投入・活動・成果等の不利益や不公平さの広がりなど	予想しなかった政策への負の影響、実施組織の体制や研究活動の活発度への間接的な負の影響、ターゲットグループ以外へのプロジェクトの投入・活動・成果等の不利益や不公平さの広がりなどはありますでしょうか？今後ありうるでしょうか？	なし。
	外部条件等の影響	上位目標到達を妨げた要因、促進した要因	上位目標到達を妨げた要因、促進した要因にはどのようなものがあるでしょうか？	
	波及効果	他の水環境富栄養化防止への技術・情報等の波及	他の湖沼への普及や、経済基盤の弱い他の発展途上国に应用される見込みはいかがでしょうか？	ある。
5. 自立発展性	政策的支援体制の整備	関連規制、法制度、監督組織、普及組織の整備状況	関連規制、法制度、監督組織、普及組織の整備状況と今後の見通しはいかがでしょうか？	とてもいい。
		太湖水汚染防止5か年計画と2010年長期計画	太湖水汚染防止5か年計画と2010年長期計画は予定通り予算計上され、活動が行われているのでしょうか？その成果はいかがなんでしょうか？	計画通り行っている。成果についての判断はまだ時期尚早である。
	移転した技術の定着と活用の仕組み	C/Pの定着度	技術移転したC/Pの定着度についてはいかがでしょうか？	とてもいい。
		施設・機材の維持管理費	機材を適切に維持管理していくために、センターには十分な能力は養成されましたでしょうか？	目下、十分の能力を持っていない。改善すべきである。
		移転した技術の定着と活用の仕組み	移転した技術の定着と活用の仕組みは充分整っているでしょうか？	確立している。
	開発された技術の普及・発展の可能性	技術的・経済的・社会的・文化的・環境的な側面からの普及可能性	技術的・経済的・社会的・文化的・環境的な側面からの普及可能性はいかがでしょうか？	見込みがいい。
		普及のメカニズムの確立の見通し	普及のメカニズムの確立の見通しはいかがでしょうか？	これからすぐのこと。
浄化槽の製造企業の製造能力、実績		浄化槽の製造企業の製造能力、実績は、普及の一翼を担うに足るものでしょうか？	きっとできる。	
持続的効果	持続的効果の発現要因と阻害要因	その他、何か持続的効果の発現要因と阻害要因がありますでしょうか？	まだ感覚していない。	

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	黄益斌 45歳
	所属している組織とそこにおける地位	江蘇省環境保護庁外事外経処処長 江蘇省環境経済技術国際合作センター主任
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	江蘇太湖プロジェクト技術担当者 組織調整員
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	なし
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	1. 対外協力の組織調整。例えば太湖都市環境プロジェクトの最初段階の準備作業2. スペイン政府との協力プロジェクト「江蘇省南部における危険廃棄物の処置方法に関する研究」。3. カナダ政府との協力プロジェクト「中小企業環境管理」の組織、審査。
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	太湖都市環境プロジェクト。主に汚水石の建設（世界銀行のローン）
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	石の生産メーカーとユーズを探し、情報を集める。
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法を）	先進技術を導入し、国内（主に省内）で利用する。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	技術が進んでいるが、運転費用が高すぎる。

項目	質問	ご回答
期待とメリット	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったのでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対する質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p>	<p>プロジェクトの技術と応用を勉強・把握する。</p> <p>真面目に仕事する。江角先生。</p>
運営のあり方	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何かでしょうか？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えなおられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署（グループ）で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>技術を導入し、コストを低下させ、市場競争に合わせる。</p> <p>足りない。市場化手段で解決する。</p> <p>調整に努力する。</p>
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がありましたら、お願いします。</p>	

項目	質問	ご回答
	<p>お名前と年齢</p> <p>所属している組織とそこにおける地位</p>	<p>関毅梅 38歳</p> <p>江蘇省環境経済技術国際合作センター 課長</p>
<p>名前と所属</p> <p>研究開発課題と成果</p>	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける地位</p> <p>組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありました。どのような変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？</p> <p>研究開発されている主要な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください。）</p> <p>上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょう？</p> <p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょう？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）</p> <p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など）</p> <p>上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？</p>	<p>浄化槽技術ガイドライン作成</p> <p>なし。（ただし、機構改革は今年末か来年初めから始まる。給料は政府から、奨励金や手当は自分たちの稼ごから出されている。今までは奨励金や手当は、皆に同じような額で分配されていたが、これからは稼いだ額が手当にそのまま反映されるようになる。そのため、稼げる仕事を行う必要がある。）</p> <p>1. 中国太湖水環境修復モデルプロジェクト（南京）2. EU技術援助プロジェクト：汚染土壌調査・研究と修復技術立案（南京）3. 中国とカナダの「中小企業清潔生産」協力プロジェクトにかかわる経済評価の審査（南京）（このように兼職しているが、彼女の場合は主に1の太湖プロジェクトの仕事をしている。）</p> <p>1の作業内容</p> <p>発表した論文：日本の浄化槽技術が中国での普及の見込み（2003年第4期の「汚染防止技術」（中国の雑誌））</p> <p>ガイドラインの作成作業に参加し、論文を発表する。</p> <p>人為的な妨害（関係者が多いプロジェクトであり、ガイドライン作成においても、様々な関係者の協力が欠かせない。例えば、6種類の浄化槽についてそれぞれ南京に担当者がいるが、彼らが仕事を辞めてしまえばその部分の活動に支障が出てしまう。担当者がプロジェクト終了まで仕事を辞めないことを願っている。）</p>

項目	質問	ご回答
	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったのでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのよう役立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p>	<p>当該プロジェクトの実施に参加することにより浄化槽関連の技術や維持管理の基準などを把握する。</p> <p>全て有益だった。それぞれの専門家が専門技術を持っている。</p> <p>本プロジェクトに啓示があり、浄化槽技術は中国での普及の前提条件、タイミング、国産化の可能性、運営体制などの面で更に理解した。</p>
<p>浄化槽施設</p>	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何か？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えたいのでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題にならなっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどのようなことでしょうか？</p>	<p>浄化槽施設</p> <p>法律・法規(排出者単位の窒素・リン排出規制、及び汚水処理施設の整備基準)、財税制度(汚水処理施設の設置に対する補助金など)、産業政策(汚水処理設備の整備基準を産業界に設ける。また統一的な国の基準も設ける。)、管理体制(浄化槽関係の様々な種類の専門家の養成・資格制度、及びそれらの人材を活用した管理体制)などを足りない。市場化メカニズムで解決する。(浄化槽メーカーとの浄化槽の共同開発。そのためには、政策サポートも不可欠。浄化槽が良いものであるという認識が広まることも必要。今の浄化槽施設は、実験用だけでなく、子どもたちも浄化槽の良さが理解できるような普及・教育機能ももたせられれば良い。)</p> <p>なし(ただし、担当者がみな兼任であることは問題である。本当であればこのプロジェクトの専任スタッフがいるべきである。現場のスタッフはこの技術の良さを理解し、このプロジェクトの期間中に日本人専門家から様々なことを学ぼうという意欲があるが、1江蘇省の上の方の人たちはみよな、このプロジェクトを重視していない。)</p> <p>調整がふくまざつてあり、解決が難しい。所属がそれぞれ違う。(南京において、環境科学研究所、環境経済技術国際合作センター、監測センターの三つが横並びにならなっている。それぞれの代表は、環境保護庁の副庁長であり、同格である。その上の環境保護庁(長)は、指導・調整機能をほとんど発揮できていない。)</p>
<p>その他</p>	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見があまりありません。お願いたします。</p>	<p>直接、国・省・市の環境科学研究所(所)が協力する。(関係機関が多すぎて複雑すぎるので。)</p>

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	胡去非 38歳
	所属している組織とそこにおける地位	江蘇省環境経済技術国際合作センター エンジニア
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	なし
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	なし
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとつて重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	勤め先で自分の担当する職務。太湖水環境修復モデルプロジェクト環境教育分野の仕事。
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	太湖水環境修復モデルプロジェクト環境教育分野の仕事
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	なし
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など）	日本の水処理に関する進んでいる技術と手法を勉強する。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	なし

項目	質問	ご回答
期待とメリット	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったのでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p>	<p>日本の排水処理にかかわる新しい技術、特に高度処理浄化槽技術を勉強したい。</p> <p>有益だった。日本人専門家、特に庄田専門家と小川専門家から技術や手法など色々教えてもらった。</p>
運営のあり方	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何か？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えられますでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>浄化槽設備</p> <p>管理体制と産業化政策</p> <p>足りない。</p> <p>なし</p> <p>プロジェクトに参加している機構が多すぎて、調整が複雑である。</p>
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がございましたら、お願いします。</p>	<p>中日双方はより一層協力を強化すべきである。</p>

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	李春才 53歳
	所属している組織とそこにおける地位	江蘇省環境経済技術国際合作センター 副主任
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	なし
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	なし
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	勤め先で自分の担当する職務。
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	プロジェクトを通して関連情報を獲得する。
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など）	最後までプロジェクトに参加し、関連作業に頑張る。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	なし

項目	質問	ご回答
	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったのでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p> <p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何でしょうか？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えおられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのような取っ手でおられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>当該プロジェクトの技術を把握・勉強する。</p> <p>印象が浅い。</p> <p>中国の国情に適合させ、処理技術を普及させる。</p> <p>各レベルの政府からの支援による。</p> <p>積極的な態度を持ち、出来る限り困難を克服し、協力してあげる。多方面の調整が大変だった。</p>
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がございましたら、お願いします。</p>	なし

項目	質問	回答
	お名前と年齢	鄭敏 40歳
	所属している組織とそこにおける地位	江蘇省環境科学研究院 副主任
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	1. 各処理手法の性能比較・分析 2. 脱りん・脱窒素の性能ある高度処理プラントの実証実験を通して最適な操作条件と技術を開発する。3. 太湖水環境修復のために関連プロジェクトについての調査・研究を行い、討論と調整を行う。4. 浄化槽技術ガイドラインの構造部分の作成など。
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	2003年12月日本研修までは江蘇省環境科学研究院設計所の所長を務めた。2004年10月日本研修終了後帰国してから江蘇省環境科学研究院株式会社の設立準備事務室の副主任を務めている。
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとつて重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	1. 江蘇省環境科学研究院株式会社の設立準備作業。2. 中国太湖水環境修復モデルプロジェクト。3. 2003年12月日本研修へ行く前に環境工事設計プロジェクトの後始末作業と検収作業を担当している。
研究開発課題と成果	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など）	2の作業内容 1. 中国太湖水環境修復モデルプロジェクト中の6種類の浄化槽の処理プロセス及び技術特徴について深く把握した。2. 日本研修期間中に二つの論文を作成し、日本の都市汚水処理場と浄化槽の評価手法を紹介した（まだ発表していない）。3. 日本研修期間中に浄化槽の開発と評価試験・浄化槽の現場測定作業に参加し、そして浄化槽の製造メーカーカを見学して、日本の浄化槽技術及び普及について全面的に把握した。 1. 二つの浄化槽研究開発と浄化槽評価測定に関する論文を発表する。2. 中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの浄化槽現場の試験結果によって中国の国情に適合する浄化槽技術を賓館や学校、生活団地のような汚水処理工事に活用する。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	なし

項目	質問	ご回答
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加してしようか？	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトを通して、日本の進んでいる技術を把握し、中国の環境プロジェクトにて活用するよう、特に小規模の生活排水処理プロジェクトのにて活用する。
期待とメモリット	日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったでしょうか？ (日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのよう役立っているでしょうか？	日本人専門家の指導と助言は大変役に立った。ガイドライン作成においては下高原先生が色々指導してくれた。 日本研修期間中に浄化槽の研究開発や製造、測定、据付、点検などの過程に接触し、日本の浄化槽技術について全面的に深く把握することができ、本人の担当している作業、例えばばば各処理手法の性能比較・分析、脱りん・脱窒素の性能ある高度処理プラントの実証実験を通して最適な操作条件と技術を開発する、浄化槽技術ガイドラインの構造部分の作成などに大変役に立っている。
	プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？	なし
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何でしょうか？	なし
運営のあり方	研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？不十分だとしたら、どのような方策を考えたいでしょうか？	研究開発経費は不十分である。主に下記のことである。1. 経費の中に参加者の給料が含まれていない2. 現場の試験観測費用が足りないので観測の頻度と少なく、試験の結果に影響する可能性がある。
	担当している本プロジェクトの部署（グループ）で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？	江蘇省環境科学院では独立採算体制を取り入れられており、それにプロジェクトの経費が不十分であり、全ての参加者は兼任しているため、作業に手が回らない場合がある。現在現場で実施している当番は、事前に検討して当番一覧表を作った作業の進行に有効である。一方、南京は試験現場と離れており、交通が不便なので、試験の実施に影響する可能性がある。
	プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？どのような問題があるでしょうか？問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？	なし
その他	その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がありましたら、お願いたします。	浄化槽事業は現場の実験段階に入り、設備の安定運転と測定データの信頼性と有効性を如何に確保することは重要な問題になっている。これは試験の結果乃至今後の浄化槽技術が太湖流域での普及に影響する可能性がある。そこで、浄化槽の運転管理と設備の維持管理を強化し、測定したデータを適時に分析すべきである。そのため、測定したデータを参加者の皆に提供し、皆がそれぞれ各自の意見や考え方を提出し、問題を解決する。

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	姜偉立 34歳
	所属している組織とそこにおける地位	江蘇省環境科学研究院 江蘇省清潔生産センター 主任
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	凝集剤添加連続流入間歇ばっき方式（BR）浄化槽試験
研究開発課題と成果	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にととって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など）上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	変更がある。2001年5月より工程設計所から環境管理研究所へ移動し、2004年2月より環境管理研究所から清潔生産センターへ移動した。 1. 江蘇省はじめての清潔生産にかかわる審査。2. 常州市循環経済研究。3. 常州市循環経済開発区に関する経済研究。 担当している浄化槽分野の関連技術を把握し、1～2の論文を発表する。 毎日忙しいので、太湖プロジェクトの関連作業をする時間が確保できない。

項目	質問	ご回答
	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っていますでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p>	<p>太湖プロジェクトの実施に参加することにより、日本の水環境修復に関する技術や経験を把握したい。</p> <p>日本人専門家から有益な経験を多少勉強した。</p> <p>日本国立環境研究所霞ヶ浦試験サイトで浄化槽技術について研修したことがあり、これは現在の太湖浄化槽の試験に役に立つと思う。</p>
<p>期待とメリット</p>	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何でしょうか？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えておられるでしょうか？</p>	<p>プロジェクト管理・運営レベルの調整が必要である。</p> <p>中国で浄化槽を普及する場合、本プロジェクトの資金の問題だけではなく、国家政策と経済実力ができているかどうかのこと</p>
<p>運営のあり方</p>	<p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>プロジェクトに参加しているC/Pは皆プロジェクトの作業をやる時間が足りないが、目下の運営体制では解決できない。</p>
<p>その他</p>	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がありましたら、お願いします。</p>	

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	高蓉蓉 35歳
	所属している組織とそこにおける地位	江蘇省環境科学研究院
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	循環気濾床接触ばっき方式浄化槽
	組織とプロジェクトにおける所属先と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	なし
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてくださいますか。（順番は自分にとつて重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	1. 江蘇省環境工学生態修復実験のプラットフォーム及び関連の技術研究（蘇州）。2. 江蘇省環境工学飲用水源有機毒物処理のプラットフォーム及び関連の技術研究（南京）。3. オゾン技術の排水処理での利用研究（鎮江）。4. 太湖水環境修復プロジェクト小規模非水処理システム浄化槽（無錫）
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	上記第4項
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	「巢湖流域水質現状及び保護対策に関する調査報告書」が「汚染防止技術」第16巻第3期で発表された。
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など）	「太湖水環境修復プロジェクト小規模非水処理システム浄化槽ガイドライン」の作成に参加する。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	プロジェクトの残り少ない期間をよく利用して、プロジェクトの研究に取り組み、交通不便の困難を克服し、手元の他の作業との関係をやましく調整するなど。

項目	質問	ご回答
	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに何を期待して参加しているのでしょうか？</p>	<p>日本の同業者と交流して、日本の進んでいる水処理の技術を学べ、太湖の水環境修復にて活用する。</p>
<p>期待とメモリアット</p>	<p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対する質問)</p> <p>日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのよう役立っているでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p>	<p>日本人専門家の指導がある程度有益である。それぞれ特徴がある。</p> <p>日本国立環境研究所で浄化槽の構造を把握し、汚水処理場で維持管理の重要性を勉強した。</p> <p>小型浄化槽</p> <p>各部門の作業分担と調整の問題である。</p>
<p>運営のあり方</p>	<p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？不十分だとしたら、どのような方策を考えておられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？どのような問題があるでしょうか？問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>不足である。</p> <p>接触ばっつき方式浄化槽の処理性能は比較的安定であり、太湖流域の水質に対して、プロセスパラメータを変え、処理効率を高める。</p> <p>交流を強化すべきである。</p>
<p>その他</p>	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がありましたら、お願いたします。</p>	

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	涂勇 28歳
	所属している組織とそこにおける地位	江蘇省環境科学研究院
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	循環嫌気濾床生物ろ過方式浄化槽SRN型（セラミック）
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	なし
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとつて重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	1. 捺染廃水処理工事設計一つ。2. 循環嫌気濾床生物ろ過方式浄化槽SRN型（セラミック）課題にかかわる研究。3. 環境評価プロジェクト一つ。
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	上記第2項
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	主に循環嫌気濾床生物ろ過方式浄化槽SRN型の処理プロセス及び浄化槽設計の基本基準を把握する。目下、運転に関する指導的な経験を得るために運転試験を行っている。
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法を）	循環嫌気濾床生物ろ過方式浄化槽SRN型の設計手法を身につけ、指導的な運転資料を獲得する。一つの論文を発表するつもりがある。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	交流を強化する。

項目	質問	ご回答
期待とメモリアフト	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのよう役立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p>	<p>日本の生活排水を主に処理する浄化槽の技術を学べ、中国での活用したい。</p> <p>日本人専門家の指導は私にとって大変有益である。下高原先生の現場説明と相互交流は私にとって大変有益である。</p> <p>プロジェクトの生物ろ過方式浄化槽 (SRN型) を使用した。pH計、ORP計、MLSS計、DO計などを使った。</p>
運営のあり方	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何でしょうか？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えたいでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署 (グループ) で問題・課題にならなっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのような取っ手でおこないますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>知らない</p> <p>知らない</p> <p>なし</p> <p>資料調査や現場交流を通して他の機種の浄化槽に関する課題や研究内容及び傾向について把握しており、自分の担当している浄化槽と比較した。</p>
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がございましたら、お願いします。</p>	<p>なし</p>

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	梁志冉 28歳
	所属している組織とそこにおける地位	江蘇省環境科学研究院
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	膜処理浄化槽
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	なし
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとつて重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	
研究開発課題と成果	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	膜処理が排水処理における具体的な応用技術を把握する。
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出すでしょうか？（論文や技術・方法など）	論文を書く。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	実験データが少ない。

項目	質問	ご回答
	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったのでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのようなように役立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p>	<p>日本の先進的な汚水処理技術を学ぶ。</p> <p>有益である。下高原先生より浄化槽構造に関する紹介。</p> <p>膜処理浄化槽</p>
<p>運営のあり方</p>	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何か？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えたいでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>無錫に地元の現場維持管理者が必要である。</p> <p>実験データが少ない。</p>
<p>その他</p>	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がございましたら、お願いたします。</p>	<p>全ての機材と設備の運転及び維持管理を専従者に依頼すると提案する。</p>

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	諭学敏 29歳
	所属している組織とそこにおける地位	江蘇省環境科学研究院工程設計所 所長
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	回分式活性汚泥法浄化槽
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	2000年から2004年まで工程設計所に勤め、2003年12月より工程設計所所長を務めている。
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	1. 山東正義紡織集団染整废水处理プロジェクトの設計（山東臨沂市）。2. 晶励（金壇）服装有限公司の废水处理プロジェクトの設計（江蘇金壇市）。3. 昕暉化工废水处理プロジェクト（江蘇太倉市）。
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	なし
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	情報を得た。
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など）	一つ論文を書く。浄化槽の設計方法を基本的に把握する。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	自分が担当している作業。

項目	質問	ご回答
	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに何を期待して参加しているのでしょいか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っていますでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p>	<p>浄化槽の設計方法を勉強・把握する。</p> <p>有益である。下高原先生との技術交流は有益である。</p> <p>プロジェクトの設計において、エアリフトを使っている。</p>
運営のあり方	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何か？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えたいでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題に悩んでいること、改善・解決すべきことは何か？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのような取っ手でお持ちですか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればいいでしょうか？</p>	<p>現場の維持管理を専従者に担当させ、専門の業者に依頼すると提案する。</p> <p>知らない</p> <p>南京―無錫の間で行った来たらするのは不便である。解決が難しい。</p> <p>本プロジェクトに参加する部門と人員が多く、江蘇省環境保護庁の外事対外経処を通して協力調整を行っている。今の問題としては参加者の間に交流が乏しく、皆は各自の仕事を持っているため、仕事上の衝突がある。</p>
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見があれば、お願いたします。</p>	<p>参加者はそれぞれ責任を持つべきである。今後、同じようなプロジェクトを実施する際、責任の擦り合いを避けるために協力部門が出来るだけ少なくするのを提案する。</p>

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	唐松林 31歳
	所属している組織とそこにおける地位	江蘇省環境モニタリングセンター 主任エンジニア
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	主に生態修復分野にかかわる作業を担当している。
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	変更がある。元のモニタリング分析課から開発業務部に移動した。
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとつて重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	1. 中国太湖水環境修復モデルプロジェクト（無錫—南京）2. 省範囲の環境評価基準化研究（南京）3. 飲用水中の揮発性/半揮発性有機塩素化合物基準研究（江蘇省）
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに参加している。
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	一つの研修報告を完成した。
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法を）	生態修復及び浄化槽分野の処理プロセスを更に把握し、それを将来の勉強と作業と結びつけ、関係雑誌にて論文を発表するつもりがある。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	処理プロセスを更に把握する必要がある。

項目	質問	ご回答
	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったのでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのよう役立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p>	<p>太湖現在の汚染状況が大きく改善される。</p> <p>有益だった。中村圭吾先生の「植岸」法で川/湖岸の生態環境を修復する。</p> <p>現在実施中の生態修復事業に対して観念として指導の役割がある。</p> <p>現場の機材を使ったことがある。</p>
運営のあり方	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何か？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考慮しておられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのような取っ手でおられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>中国側のプロジェクト関係者に設計やデータ収集の作業に多く参加させて欲しい。</p> <p>中日双方の専門家が更に交流やコミュニケーションを行うべきである。</p> <p>中日双方の専門家が更に交流やコミュニケーションを行うべきである。</p> <p>中日双方の専門家が更に交流やコミュニケーションを行うべきである。</p>
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がございましたら、お願いします。</p>	

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	黄麗萍 30歳
	所属している組織とそこにおける地位	江蘇省環境モニタリングセンター
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける地位	高度処理浄化槽ろ過技術の開発
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	勤め先の仕事、太湖JICAの仕事
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	論文、開発された技術、情報
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など）	論文、技術
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	

項目	質問	ご回答
	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったのでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p>	<p>太湖現在の汚染状況が大きく改善される。</p> <p>有益だった。中村圭吾先生の「植岸」法で川/湖岸の生態環境を修復する。</p> <p>現在実施中の生態修復事業に対して観念として指導の役割がある。</p> <p>現場の機材を使ったことがある。</p>
<p>運営のあり方</p>	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何か？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えておられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっっていること、改善・解決すべきことは何か？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>中国側のプロジェクト関係者に設計やデータ収集の作業に多く参加させて欲しい。</p> <p>中日双方の専門家が更に交流やコミュニケーションを行うべきである。</p> <p>中日双方の専門家が更に交流やコミュニケーションを行うべきである。</p> <p>中日双方の専門家が更に交流やコミュニケーションを行うべきである。</p>
<p>その他</p>	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がありましたら、お願いします。</p>	

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	陳俊霖 35歳
	所属している組織とそこにおける地位	江蘇省環境経済技術国際合作センター エンジニア
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	太湖プロジェクトにおいて啓発教育分野の担当者
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	なし
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	1. 太湖プロジェクトにおいて啓発教育分野と調整作業。2. 江蘇省環保庁の外事経済の作業。
	上の課題の中で、JICAが行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	太湖水環境修復プロジェクト
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	1. 啓発教育分野の作業と日本側とのコミュニケーション。2. プロジェクトに関する連絡・調整+CI7。3. 毎年一回の現場セミナーの準備作業。4. 現場の臨時通訳や毎月一回のコミュニケーションの翻訳と配布など。
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など）	プロジェクト成果の普及と啓発教育分野において日本側の専門家の意見と合致するよう、日本のよい経験を中国に普及するよう努力する。日本の浄化槽にかかわる法律・法規に関する理論や知識をよく勉強し、国民と青少年達の環境意識を強める。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	個人として日本の普及に関する先進経験についてあまり情報の把握が足りない。中国では目下浄化槽にかかわる法律・法規が完備していない。

項目	質問	ご回答
期待とメリット	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>（日本で研修を受けた人に対しての質問）日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのよう役立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p> <p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何でしょうか？</p>	<p>このプロジェクトは意義のあるもので、太湖の汚染防止と水質浄化に重大の意味があり、自分の人生にとしても重要な経験の積み立てになる。</p> <p>プロジェクトに参加することができ、日本人専門家と一緒に仕事することを通して日本人専門家の作業中の綿密な計画と真面目な仕事振りを学び、特に前任の庄田リーダーと後任の江角リーダーが仕事に対する真面目さや責任を果たすやり方、楽観的な性格及び真摯な態度は私に有益なもので、多くの指摘と指導をしてくれた。また岡田調整員の調整能力とやり方の冷静さ且つ潔さは私に印象深い。</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>無錫、江蘇省、北京及び日本側とのコミュニケーションを強化すべき。問題を速やかに解決することができるように、できる限りスムーズに情報交流を確保する。</p>
運営のあり方	<p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？不十分だとしたら、どのような方策を考えたいでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署（グループ）で問題・課題にならなっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？どのような問題があるでしょうか？問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>予算がもし実施中で計画より超えた場合、R/Dに基づき双方協議の上で解決すること。</p> <p>プロジェクトの進展状況によって、本プロジェクトにおいて中国の中小生を対象とする環境教育と意識向上に関しては不足している。日本の浄化槽法律・法規に関する資料について把握が足りないこと。今後普及のため、日本の啓発教育における先進経験を更に勉強する必要がある。</p> <p>本人はプロジェクトにおいて一部の調整仕事を担当しており、例えば日本側とのコミュニケーション及び現場の作業などは問題としてはコミュニケーションが足りないうえ、作業進捗と計画が明確になっていないこと。今後コミュニケーションを強化すべきである。</p>
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がありましたら、お願いします。</p>	<p>中日協力のプロジェクトなので、双方の協力のもとで実施し成功を収めることができる。共通の目標に向かって一緒に頑張りました。</p>

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	張雨田 55歳
	所属している組織とそこにおける地位	中国環境科学研究院 国際合作センター 主任
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	太湖プロジェクト中国側管理者
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたか？もしやうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしうか？	なし
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとつて重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	1. 世界銀行のローンによる湖北水利電力プロジェクト。2. 湖北青山火力発電所の技術改善プロジェクト
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしうか？	なし
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	太湖プロジェクトの管理作業のみやっており、具体的な作業を参与していない。
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしうか？（論文や技術・方法など）	中日双方協議の上で修正したプロジェクトの全部の内容を完成させる。浄化槽技術の導入を実現させ、本プロジェクトをモデルプロジェクトの役割を確実に発揮させる。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するための一番必要なことは何でしうか？	プロジェクトの一環として、浄化槽性能評価装置システムの実施を速やかにに行い始めるべきである。

項目	質問	ご回答
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？	日本の練れた浄化槽の技術や評価手法と法規を中国に導入する。
期待とメリット	日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？ (日本で研修を受けた人に対する質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのよう役立っているのでしょうか？	
	プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？	
運営のあり方	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何でしょうか？ 研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えたいでしょうか？ 担当している本プロジェクトの部署（グループ）で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？ プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？	日本側の一方的な主張だけが有効になる状況を変えなければいけない。 中国側がこのプロジェクトのために400万円を投入することはプロジェクト立案の段階に日本側に認められたが、プロジェクト実施中において日本側が中国側にやっつてももらうことは中国側の当初の承諾を遥かに超えている。超えた部分の予算については中日双方がそれぞれ50%を負担すべきである。 日本側の一方的な主張だけが有効になる状況になる状況を変えるべきである。例えば、中国側が提出した浄化槽性能評価装置システムについては、日本側がずっと引き伸ばしている。日本研修の人选日本側独自で決めることになっている。
その他	その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見があまりありません。お願います。	

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	黄益斌 45歳
	所属している組織とそこにおける地位	江蘇省環境保護庁外事外経処処長 江蘇省環境経済技術国際合作センター主任
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	江蘇太湖プロジェクト技術担当者 組織調整員
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	なし
	研究開発されている主要な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	1. 対外協力の組織調整。例えば太湖都市環境プロジェクトの最初段階の準備作業2. スペイン政府との協力プロジェクト「江蘇省南部における危険廃棄物の処置方法に関する研究」。3. カナダ政府との協力プロジェクト「中小企業環境管理」の組織、審査。
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	太湖都市環境プロジェクト。主に汚水石の建設（世界銀行のローン）
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	石の生産メーカーとユニーザを探し、情報を集める。
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など）	先進技術を導入し、国内（主に省内）で利用する。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	技術が進んでいるが、運転費用が高すぎる。

項目	質問	ご回答
期待とメモリアル	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p> <p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何でしょうか？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考慮しておられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になつていて、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておりますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>プロジェクトの技術と応用を勉強・把握する。</p> <p>真面目に仕事する。江角先生。</p>
運営のあり方	<p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p> <p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何でしょうか？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考慮しておられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になつていて、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておりますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>技術を導入し、コストを低下させ、市場競争に合わせる。</p> <p>足りない。市場化手段で解決する。</p> <p>調整に努力する。</p>
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がありましたら、お願いします。</p>	

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	備昭升 31歳
	所属している組織とそこにおける地位	中国環境科学研究院 湖沼環境新機軸 サイト 実験室主任
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	Microcosm
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたか？もしやうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしやうか？	2003年10月よりこのプロジェクトに参加してから変更がない。
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	1. Microcystis and Oscillatoria が湖沼中での競争にかかわるシミュレーション。2. Microcosm 装置の管理。3. 藍藻水花形成のシミュレーション研究。
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょう？	Microcystis and Oscillatoria が湖沼中での競争にかかわるシミュレーション。
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょう？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	Microcosm 装置の使い方。
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょう？（論文や技術・方法など）	Microcosm 装置を湖沼の富栄養化研究に活用する。二つの論文を完成する。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょう？	Microcosm 装置が使えらるかどうにかよる。

項目	質問	ご回答
期待とメリット	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのででしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対するの質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p>	<p>太湖の藍藻水花発生の特徴を認識し、藍藻水花の発生防止のために基礎研究を備える。</p> <p>有益である。村上先生の試運転における指導は一番有益だった。</p> <p>色んな仕事に役に立っている。例えば、Microcystis and Oscillatoria が湖沼中での競争にかかわるシミュレーション。Microcosm 装置の使い方について日本人専門家から勉強することができ、実験の考え方や手法についても日本人専門家と交流することもできる。</p> <p>Microcosm 装置。上手に操作ができる。</p>
運営のあり方	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何でしょうか？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えておられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？ 問題のどのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>参加者の事前トレーニングを行うべきである。中日双方の関係者がプロジェクトについてよく認識してから実施すること。</p> <p>Microcosm 装置を科学研究によく利用されるために、改造工事が必要である。</p> <p>JICAの調整員と環科院国際合作部の調整を通して調整する。</p>
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がありましたら、お願いします。</p>	

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	胡小貞 29歳
	所属している組織とそこにおける地位	中国環境科学研究院 湖沼環境新機軸サイト 助手研究員
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	生態工学分野（植生水路）
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	なし
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	1. 973プロジェクトにおける課題：湖沼富栄養化及び水花発生メカニズムに関する研究。2. JICAプロジェクトにおける日本側との交流とコミュニケーション。
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	上記の1の中、太湖プロジェクトの第1課題の研究内容が含まれている。
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	1. 植生水路浄化施設について日本側の専門家と交流を行い、案を作成した。2. マイクロシステム装置実施の前段階の作業に参加し、日本側専門家との交流、実施中の調整、太湖藍藻水花発生メカニズムにかかわる実験室での研究を行った。
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など）	生態工学分野の内容が取り消され、プロジェクト終了時にこれについてどんな要求があるかを知らない。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	十分の予算、中日双方の十分のコミュニケーション。

項目	質問	ご回答
期待とメリット	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っていますでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p> <p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何かでしょうか？</p>	<p>勉強、技術交流、友誼。</p> <p>1. 日本研修中で中村圭吾先生について多くのことを勉強した。彼はとても能力のある人だ。2. 斎藤先生について生態工学分野の収獲もある程度獲得した。3. 江角先生と岡田女史がプロジェクト進行のために推し進める役割を果たした。</p> <p>日本で生態工学について研修を行い、日本の既に完成したあるいは実施中の生態工学の実例を見学し、生態工学に関する理解を深め、これに基づいて太湖プロジェクトの植生水路の案を作成し、日本側の専門家との交流もスムーズになった。</p> <p>JICAプロジェクトの供与器材である顕微鏡システムを常に使っている。</p>
運営のあり方	<p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えておられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのような取っ手でおられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>あまり十分ではない。</p>
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見があまり見当たらず、お願いたします。</p>	

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	蘇一兵 53歳
	所属している組織とそこにおける地位	中国環境科学研究院 河川と海岸環境新機軸サイト 汚染物地球生物化学プロセス 研究員
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	浄化槽環境専門家
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	1. 2001.5～2003.5 中国環境科学研究院の国際合作センターの助手研究員。2. 2003.6～2004.5 中国環境科学研究院の河川と海岸帯び環境研究所の助手研究員。3. 2004.6より今までは上記第2欄と同じ。
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとつて重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	1. 2002～2005 科技部863プロジェクト：深圳市都市水環境改善技術と総合モデル研究。（深圳市） 2. 2002～2005 科技部863プロジェクト：渤海典型型海岸帯生環境修復技術。（天津市） 3. 2004～2009 世界銀行“GEF”海河流域水資源と水環境総合管理プロジェクト。（北京、河北省、天津、山東省、河南省、山西省）
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	どれも無いが、太湖プロジェクトの技術普及・利用の地域になることができる。
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	技術手法及び理念が分散型汚水制御における処理ニーズでの利用。
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など）	普及・利用に関する論文、プロジェクト技術手法の移植及び改善、異なる地域の政府に普及・利用のための助言を与える。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	まだ太湖プロジェクトの技術手法と利用の効果を獲得してない。関連する技術装置の評価手法はまだ完備していない。

項目	質問	ご回答
期待とメリット	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p>	<p>JICAが一連の技術の援助事業を見事に完成できていることを信じている。この一連の技術が中国のほかの地域での普及について、日本側の専門家に引き続きよい助言を出すよう期待している。</p> <p>浄化槽技術の専門家及び湖沼水体修復技術の専門家、特に島森先生は中国の環境保全事業に努力を払い、大きく貢献した。</p> <p>今やっている全ての研究作業に役に立っている。水資源の科学的な管理、汚水と排出の制御、汚水が溜まっている水体の保護と改善等を含む多くの科学的知識を既に関連する政府部門に助言報告書で提出したりしている。</p> <p>太湖の浄化槽と水体修復モデルプロジェクトを合わせて普及させたいという積りがあり、現在のところでは普及のためのパイロット実験あるいは政府に利用企画に関する提案段階である。</p>
運営のあり方	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何か？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしでしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えたいのでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何か？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>中国視聴経済のメカニズムに応じ、非政府投資者の参与を求め、社会各界の関係者の積極性を十分動員すべきである。目下では、水資源の合理的な案配などの管理理念を合わせて、資本金を保證する一余剰がある一利潤を上げると言う改善モードで実行して行くべきである。</p> <p>十分ではない(太湖プロジェクト自身)。上記の助言により、財務上の激励手法で解決する。プロジェクト普及に当たっては、実施の前に合理的な資金調達と運営管理方式を設計する必要がある。</p> <p>主に勉強すべき知識が足りない。これは太湖プロジェクトの後半において日本側の専門家との交流によって解決することができると期待している。</p> <p>中国同士間の調整や交流は定期的に行っている。よい協力関係を保っている。日本側の専門家とのコミュニケーションが少なくない。日本側専門家の中国滞在期間が制限されているのは原因となっている。今後、電子メール或いはコミュニケーションを強化することによって解決することを提案する。</p>
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がございましたら、お願いたします。</p>	<p>太湖プロジェクトで収めた経験を中国他の地域で普及されることを期待している。援助の効果が中国で大きいに収められた後の計画と継続案をJICAに考えて欲しい。</p>

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	張虎軍 30歳
	所属している組織とそこにおける地位	無錫市環境モニタリングセンター
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位 組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたか？もしよいか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	1-1 分散型生活排水の排出負荷の特性にかかわる分析評価 無錫市環境モニタリングセンター業務室。2001年以降変更なし。
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	国家第十次五年計画における重大科学課題である「太湖水汚染制御と水体修復技術及びモデルプロジェクト」中の第1サブ課題である「梅梁湾水源地の水質改善の技術」（隔離水界における生態工学による水質改善で、南京地理湖沼研究所が中心になって今でも研究を行っている。自分は水質監測を担当している）、無錫地区における生態環境の調査（水環境保全のため。汚染防止と生態工学技術で修復。リモートセンシングとGISを使った解析を担当している）、「選定された地域において浄化槽の現地応用を行う（4.2）」プロジェクトの計画作成（もともと袁氏が担当で、今もC/P表はそうなっているが、実際は江角リーダーの判断で張さんに依頼し、張さんが中心になってやっている。ちなみに、江角リーダーは袁氏と張氏との間の調整は行ってはいない。）
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょう？	「選定された地域において浄化槽の現地応用を行う」プロジェクトの計画作成
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょう？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など） 中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など）	①GISによる太湖流域の水環境管理にかかわる解析手法。（2001年10月と2004年11月のセミナーで発表。両方の報告書に含まれている。）②浄化槽の歴史、技術、生産及び当時日本における浄化槽普及にかかわる政策など（来月、他の職員に対して講義をする予定）。③プロジェクトの周辺における分散型生活排水の排出特性について、文献の分析を中心に情報収集し、まとめて小川専門家に提出した。成果品はパソコンが壊れ紛失してしまっているが、探してみる。） 「選定された地域において浄化槽の現地応用を行う」プロジェクトを完了し、浄化槽が中国での活用について更に勉強したい。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	技術的な問題はない。むしろ、行政的・組織的な許可や承認の問題。

項目	質問	ご回答
期待とコメント	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったのでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのようなように役立っていますでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p>	<p>太湖の水を綺麗にするために貢献したい。環境修復（特に浄化槽）の技術について勉強したい。</p> <p>ある。日本に在る間に江角先生が研修が実りあるものになるように調整・支援してくれた。</p> <p>「選定された地域において浄化槽の現地応用を行う」。行っている課題の中で必要であるGISとリモートセンシングに関する技術的な問題を解決した。</p> <p>機材は使っていない。</p>
運営のあり方	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何か？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えおられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署（グループ）で問題・課題に悩んでいること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>浄化槽部門の事業の遂行が遅れ、今ようやく正常運転が始まった。</p> <p>(連携調整はまだできていない。)</p>
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がありましたら、お願いたします。</p>	<p>(「選定された地域において浄化槽の現地応用を行う」ことができ、浄化槽が普及していくことを願う。)</p>

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	呉志堅 49歳
	所属している組織とそこにおける地位	無錫市環境モニタリングセンター 副センター長
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	高度処理浄化槽の技術開発及び各処理手法の性能比較・分析にかかわる作業（浄化槽設置の最初の頃から、入丸作業なども含めて関与してきた。今は管理職の立場から関与している。最近、体を壊して6ヶ月入院し、現場にも行っていないが、以前は折々現場に行っていた。）
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	変更なし
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	中日協力の「JICA太湖水環境修復モデルプロジェクト」（無錫市山水城）、「太湖梅梁湾水源地の水質改善の技術」（梅梁湾水源地）、「無錫市大気顆粒物の出所にかかわる分析及び汚染防止対策に関する研究」（無錫市）。「環境保全支柱産業の発展にかかわる調査・研究——工業廃水処理の社会化管理」（工場廃水は工場ごとに個別に処理されているが、基準が統一されておらず、質にばらつきがあった。そこで、政府の認可を受けた専門機関による廃水管理の研究を行った。この研究で賞を得た。5人のグループでプロジェクトとは別途行った研究である。専門家にはこの成果の報告はしていない。）
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	「JICA太湖水環境修復モデルプロジェクト」（無錫市山水城）
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	進んでいる技術や手法を身につけ、関連の論文や報告書を書く
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法を）	上下関係の調整、資金の投入及び関係者の努力
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	

項目	質問	ご回答
期待とメリット	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p> <p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何でしょうか？</p>	<p>新しい分野に接触し、新しい知識を勉強して、太湖の水環境を改善する。(先進的なことに関わりそこから学べる。それは誇りでもある。また、若い人がプロジェクトに関わることで成長できる。)</p> <p>有益だった。江角先生の日常業務に関する指導や藤原先生の技術能力、岡田女士の調整能力。</p> <p>島津紫外分光光度計、全有機炭素の測定計、NIKONの生物顕微鏡、全窒素・全りん の測定計など。</p>
運営のあり方	<p>研究開発資金は現在、そして今後、充分ででしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えておられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>研究・開発資金が足りないので、中日双方の協議の上解決する必要があります。(検体の分析と維持管理費用の負担だけで、当初のR/Dの予算額を超えている。)</p> <p>問題: プロジェクトに参加していないC/Pは皆兼任しているため、プロジェクトの実施中において作業にかかわる考え方が連続していないし、C/P同士の間で交流やコミュニケーションが欠けている。(JICAの仕事は大事だし、新しい知識の習得にもなるが、業務として行わなければならない従来からの仕事があり、そちらの達成目標もあるので、JICAの仕事は後まわしにしがちである。)</p> <p>中国側として、国家と省と市の間の調整と協力の面で問題があり、作業実施中において関係が複雑であり、役割の分担も明確になっていない。(この3者の関係がうまくいかなかったり、プロジェクトの遂行に様々な悪影響が出てしまう。プロジェクトの責任者は国レベルなのに、国はそれを省にまかせ、省は市にまかせている。現場で問題があっても、現場の担当者や意思決定者が遠く離れてしまっている。例えば浄化槽部門の責任者は江蘇省なので、現場に問題があつた場合、専門家は江蘇省に意見を伝え、それが無錫に伝わる。せっかく同じ無錫で仕事をしているのにも関わらず、意思や情報の伝達回路が迂回して、正確に伝わってこないと、時間もかかってしまっている。自分のプロジェクトであれば事は簡単なのだが。)</p>
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見があります。</p>	<p>①体制の改革、管理レベルの簡潔化、役割分担の明確化。(②高度処理浄化槽は、技術的には先進的なもので、今後普及するためには、下水しか頭にない政府の関係者に浄化槽のことをよく理解してもらわなければならない。そのため、実物で実例をもって宣伝していくことが効果的である。)(③太湖水汚染防止2010年計画の、実際の執行状況、達成度などは、無錫市環境保護局の計画財務管理部に聞けば分かるはず。)</p>

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	丁建清 40歳
	所属している組織とそこにおける地位	無錫市環境モニタリングセンター センター長
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	CP
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたか? 変更されたのであれば、どのように変更されたのでしょうか?	なし
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。(順番は自分にとって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください)	1. 国家863重大科学研究課題である「太湖水汚染制御と水体修復技術及びモデルプロジェクト」中の第3サブ課題である「重汚染水体へどる環境保全浚渫及び生態再建技術」(無錫)、2. 中日「太湖水環境修復プロジェクト」(無錫)
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか? (例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など)	上記2. (生態工学も担当のだが、今は全然関係なくなくなってしまった。もともと無錫において生態工学は一番弱いところであり、日本から学ばなければならない分野であった。無錫環境保護局としては、プロジェクト開始時はこの分野に関心を持っていた。しかし、いろいろなる事情で湖中湖などの事業計画が取りやめになり、今は事業として少し残っているだけである。しかも日本側が北京側と行っており、無錫は関係なくなくなってしまった。しかし、生態工学の情報の編集と分析の結果は私も知りたいたいと思
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか? (論文や技術・方法など)	今はまだ成果はない。これからである。
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか? (論文や技術・方法など)	1. 要求に基づいてプロジェクトの実施や研究に参与し、現場の関連作業をうまく手配する。(浄化槽が実験運転段階に入り、現場でやることなどがたぐさくさんある。その解決に取り組む、成果が上がるようにする。) 2. 浄化槽のガイドライン作成に取り組む。3. 研究課題でこれからの段階的に得られる成果に基づいて論文や報告書を書く。4. 日本の湖沼制御対策と汚染制御対策に関する進んでいる技術や経験を更に把握して勉強する。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するための一番必要なことは何でしょうか?	作業上の調和的な人事関係、十分の資金投入、合理的な人員配置、真面目な作業態度(仕事の分担が、北京側、南京側、無錫側とではつきりとしていないかつた。またどの側がガイドラインを作るのかわからない。無錫はガイドラインの作成には実験データの提供によつて協力する。ガイドラインは実際に使われなければならない。そのためには普及対象地の状況やニーズにガイドラインを合わせなければならぬ。また実際の普及においても、何らかの役割を果たせるのではないかと。ガイドラインを適切に作れば、浄化槽は製造・普及できる。高度処理浄化槽は、維持管理費用が高いことが一番の問題である。特に電費代が高い。人件費は安いので、維持管理の手間を減らすようなガイドラインにしても、あまり経費を減らすことができない。除去性能をなるべく維持しつつ、たとえ除去性能が少し落ちることになっても、維持管理費用が安い浄化槽のガイドラインを作るべきである。)

項目	質問	ご回答
期待とメリット	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っていますでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p>	<p>1. 日本の湖沼制御対策と汚染制御対策に関する進んでいる技術や経験を把握する。2. 中国の国情に適合するの有効な湖沼制御対策と汚染制御対策を採り出す。</p> <p>日本側の専門家達の指導や助言などは私乃至プロジェクト全体の実施に対して非常に有益だった。特に、前任と後任の二人チーフアドバイザーがプロジェクトの実施のために払った努力と調整の役割は非常に重要である。</p> <p>(このプロジェクトではないが、JICAの他の枠組みで2001年3月から9月まで石川県で研修を受けた。研修内容はこのプロジェクトにあまが関係のないものであった。日本語が上達し、日本人の仕事に対するまじめな態度を理解することができたことが、このプロジェクトにも役立っている。)</p>
運営のあり方	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何でしょうか？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充てられようか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えておられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>現場の水質観測計、TOC観測分析計、全りん・全窒素の自動分析計</p> <p>現在の状況から見れば、(R/D)に書いてある)当初の予算(江蘇省の南京側と無錫側がそれぞれ年間2000万円)が不充分であった。今浄化槽の運転と試験の経費については経費不足のことが深刻になっている(維持管理費用と分析費用をきちんと考えていなかった)。中日双方がこの問題について関心を寄せて欲しいし、自らも問題解決のために最大の努力を尽くしたい。</p> <p>最大の問題としてはプロジェクトに参加しているCPは皆兼任している(投入する時間、エネルギーが限られている)、またCP同士の間で交流やコミュニケーションが欠けているため、プロジェクトの実施中において全般的・統一的な考え方が足りないこと(自分の担当分野のことはわかっているが、プロジェクト全体のことがわかっていない)。言われたことはやるが、言われなかったことはしない。</p> <p>正確に言えば、本プロジェクトは現在のところ他の分野に未だ及んでいない。連携・調整と言えればやはり中日双方や中国国内三者間の調整と協力のことである。これらの協力と調整については大きな問題があり、その原因としては役割・責任・権利・利益がはつきりしていないため、管理階層(序列)が明確になっていないし、関係が調和的ではないし、役割・責任が明確になっていない。</p>
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がありますか？</p>	<p>体制の改革、管理レベルの簡潔化、関係の調和、コミュニケーションの強化、役割・責任分担の明確化、合理的な投入、友好的な運営が必要。(現場レベルでせよよく考えがあっても、現場に決める権利がなくて実施できないかたりしており、非効率的である。意思決定の手続きを簡素化する必要がある。)</p>

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	黄勇順 41歳
	所属している組織とそこにおける地位	無錫市環境モニタリングステーション 物理化学分析室主任
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	評価試験の専門装置を利用して開発した高度処理浄化槽に対して性能分析を行う。
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたか？もし変更された場合は、どのように変更されたのでしょうか？	なし
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	国家第十次五年計画における重大科学研究課題863である「太湖水汚染制御と水体修復技術及びモデルプロジェクト」(無錫)、中国太湖水環境修復モデルプロジェクト(無錫)
研究開発課題と成果	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	中国太湖水環境修復モデルプロジェクト(無錫)
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？(例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など)	浄化槽の処理効果をはかるために大量のデータ分析作業を行い、試験計画を適時に調整するために基礎資料を提供した。(流入水と各浄化槽の中間処理水、排水の合計21の検体を、ろ過前とろ過後の2種類で分析する。1回ごとに42検体の分析となる。1ヶ月に2回、採取・分析する。)
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？(論文・技術・方法など)	浄化槽の処理効果にかかわるデータを適時に提出する。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	浄化槽の運転状況に関する情報が乏しい。(分析した結果、予想通りにかかからないときに、浄化槽の運転状況について聞いてみたら、正常に運転されていないことがあった。運転状況に関する情報が必要であるにも拘わらず、毎日の運転管理レポートがあるのかわからない。どう入手したらよいかもわからない。専門家にこのことを相談したことはない。)

項目	質問	ご回答
期待とメリット	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうちの何にどのような役に立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p> <p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何でしょうか？</p>	<p>太湖の水環境を改善し、藻類の大量繁殖を抑制し、生活排水による水環境への影響を低下させる。</p> <p>有益だった。日本側の専門家について処理技術や水体修復技術をある程度勉強した。</p> <p>日本側供与したBrab-LuebbeAA3自動分析計でNH₄-N、NO₂-N、NO₃-N、TP、TPP を分析することができ、NIKON E100の生物顕微鏡も使われている。</p>
運営のあり方	<p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしでしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えておられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのような取っかかりがありますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>(分析費用は、薬品の消耗品の費用である。1回あたり約6000元、年間だと24回で14万円かかる。薬品は中国産もあるが、質が雑かでない。しかし中国産で使えるものもある可能性があるので、探しているところである。ちなみに、環境モニタリングセンターでは副業は禁止されており、企業から分析の依頼があっても、その収入は無錫市に入り、個人には入らない。)</p> <p>(Brab-LuebbeAA3自動分析計の全要素分析のための使い方がわからない。説明書にも書いてない。上海の関係会社と問い合わせてもわからなかった。また、還元を使うCd粒子がいつ効力を失うのかが、目で観察するだけではわからない。)</p>
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がありましたら、お願いいたします。</p>	<p>① 供与機材の技術的なサービスが欲しい。例えば、機材が運転中で故障が発生した場合や分析中で問題が出てきた場合に、専門技術者の協力が必要である。(②使われずに箱にしまわれたままになっている気象モニタリング装置も使いたい。ない部品がある。同様に超音波汚泥厚測定装置も使われないが、ぜひ使いたい。以前試してみたが、説明書がなく動かなかった。)(③高度処理浄化槽は、維持管理費用を安くしないと、普及しない。)(4山水城汚水処理場との将来の関係がどうなるかについては、知らない。丁寧に聞いて欲しい。)</p>

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	顧征帆 34歳
名前と所属	所属している組織とそこにおける地位 中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位 組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのような変更されたのでしょうか？	無錫市環境モニタリングセンター 業部技術室 主任 脱りん・脱窒素の高度処理プラントの実証実験を通して最適な操作条件と技術を開発する。 変化あり。元の環境品質室の副主任から業部技術室の主任に變動した。
研究開発課題と成果	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください） 上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？ 中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など） 中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など） 上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	1. 太湖水環境修復モデルプロジェクト。2. 国家第十次五カ年計画における重大科学研究課題である「太湖水汚染制御と水体修復技術及びモデルプロジェクト」梅梁湾水源地の水質改善の技術。3. 無錫市大気顆粒の出所にかかわる分析及び汚染防止対策に関する研究 課題1の方 大量のデータを提供した。 一つの論文を発表した。

項目	質問	ご回答
期待とメリット	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょ うか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益 だったでしょうか？ 有益だった場合、誰の どのようなことが特に有益だったでしょ うか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課 題のうち何にどのような役に立っているで しょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度 利用していますでしょうか？</p> <p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの 運営のあり方において、今後、改善される べき点は何かでしょうか？</p>	
運営のあり方	<p>研究開発資金は現在、そして今後、充分で しょうか？ 不十分だとしたら、どのような 方策を考えておられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グ ループ)で問題・課題になっていること、 改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整は どのような取っでおりますでしょうか？ ど のような問題があるでしょうか？ 問題の解 決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モ デルプロジェクトに対する意見があまりまし たら、お願いいたします。</p>	

項目	質問	回答
	お名前と年齢	石波哲 29歳
名前と所属	所属している組織とそこにおける地位 中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	無錫市環境モニタリングセンター 現場モニタリング室 主任 生態工学技術にかかわる基礎研究及び分析評価システムの開発
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのような変更されたのでしょうか？ 研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にととって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	2001年6月から無錫市環境モニタリングセンターの汚染源監督モニタリング室の副主任を務め、2003年5月から同室の主任を務め、2001年6月から現場モニタリング室の主任を務めている。 国家第十次五ヵ年計画における重大科学研究課題863である重汚染水体へどう環境保全浚渫及び生態再建技術」（無錫）
研究開発課題と成果	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？ 中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など） 中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など） 上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	モデル地区の附近 汚水処理における脱りん脱窒素の強化技術の概略 一つの論文を発表した。

項目	質問	回答
期待とメモット	<p>中国太湖環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p> <p>中国太湖環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何でしょうか？</p>	
運営のあり方	<p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考慮しておられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になつていて、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	
その他	<p>その他、何か、この中国太湖環境修復モデルプロジェクトに対する意見がありましたら、お願いします。</p>	

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	袁斌偉 29歳
	所属している組織とそこにおける地位	無錫市環境モニタリングセンター 物理化学分析室 副主任
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位 組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	対策及び技術にかかわる普及宣伝活動 なし
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとつて重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	日常のモニタリング作業、JICA課題、863太湖汚染対策課題中の中・東・西五里湖の対照比較（無錫）
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	大量の水質データを分析して、計画作成及びプロジェクトの取りまとめのために基礎資料を提供した。
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など）	当面の作業に頑張りと、機材の開発及びびを行い、機材をうまく使えるようになり、一つの論文を完成したい。
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	課題の進捗や成果のまとめを入手する方法が乏しい。

項目	質問	ご回答
期待とメモリアル	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っていますでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p> <p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何でしょうか？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？不十分だとしたら、どのような方策を考えておられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのような取っでおりますでしょうか？どのような問題があるでしょうか？問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>プロジェクトの活動に積極的に参加し、太湖水環境修復事業に出来る限り貢献し、自分自身の技術能力を向上させる。</p> <p>一部は有益だった。</p> <p>日本側供与したBrab+LuebbeAA3自動分析計及びNIKON E100生物顕微鏡を使っている。</p>
運営のあり方	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がありましたら、お願いたします。</p>	<p>1～2名の経験のある中国側の専門家が日本人専門家と一緒にプロジェクトの日常活動に参加して、お互いに協力し合って作業を行うべきである。</p>

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	許濤 38歳
	所属している組織とそこにおける地位	無錫市環境モニタリングセンター 副総エンジニア
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	植物浄化による生物膜処理技術の開発
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	所属先は2001年から変更があり、元々業務技術室の主任を務めていたが、2003年4月から環境評価諮問センターに移動し、建設にかかわるプロジェクトの影響に関する評価諮問の作業に従事している。
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとりあって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	無錫市医療センタープロジェクトの環境への影響報告書、無錫市東湖文化用品有限公司の年間生産量3万トンのダンプトン生産ラインの改築プロジェクトの環境への影響報告書、濱湖新城3号地・スワンレーク団地開発プロジェクトの環境への影響報告書
研究開発課題と成果	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文・方法など）	
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	

項目	質問	ご回答
期待とメリット	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったのでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対しての質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p> <p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何でしょうか？</p> <p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えておられるでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	<p>このプロジェクトが適切な効果が出るよう、地元の状況に適合して普及されるよう、太湖の水環境修復に貢献できるよう期待している。</p>
運営のあり方	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がございましたら、お願いたします。</p>	
その他		

項目	質問	ご回答
	お名前と年齢	朱文昌 35歳
	所属している組織とそこにおける地位	無錫市環境モニタリングセンター
名前と所属	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける所属先とそこにおける地位	生態工学
	組織とプロジェクトにおける所属先名と地位は、2001年以降、変更がありましたでしょうか？変更があった場合は、どのように変更されたのでしょうか？	なし
	研究開発されている主な課題を3つほど教えてください。（順番は自分にとって重要なもの、比重の高いものから記述。またその研究を行っている試験場を教えてください）	現在主に環境モニタリング分析作業をやっている。葉緑素(クロロフィル)、浮遊動物と底生動物等。
	上の課題の中で、JICAと行っている中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの枠組みの中で行っている研究はどれでしょうか？	
研究開発課題と成果	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたが生み出した成果は何でしょうか？（例えば、論文や開発した技術・方法、得た情報など）	2003年日本水環境学会年会論文: Optimization of constructed wetland operation based on orthogonal designed investigation
	中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの中で、あなたは2006年の終了までに今度どのような成果を生み出す予定でしょうか？（論文や技術・方法など）	
	上記の目標達成を阻害すること、あるいは達成するために一番必要なことは何でしょうか？	

項目	質問	ご回答
期待とメリット	<p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトには何を期待して参加しているのでしょうか？</p> <p>日本人の専門家からの指導や助言は有益だったでしょうか？ 有益だった場合、誰のどのようなことが特に有益だったのでしょうか？</p> <p>(日本で研修を受けた人に対する質問) 日本で受けた研修は、今行っている研究課題のうち何にどのような役に立っているのでしょうか？</p> <p>プロジェクトの施設・設備は何をどの程度利用していますでしょうか？</p> <p>中国太湖水環境修復モデルプロジェクトの運営のあり方において、今後、改善されるべき点は何かでしょうか？</p>	<p>このプロジェクトが適切な効果が出るよう、地元の状況に適合して普及されるよう、太湖の水環境修復に貢献できるよう期待している。</p> <p>太湖水環境修復モデルプロジェクトにおける生態修復事業は、今まだ始まっている。</p>
運営のあり方	<p>研究開発資金は現在、そして今後、充分でしょうか？ 不十分だとしたら、どのような方策を考えたいでしょうか？</p> <p>担当している本プロジェクトの部署(グループ)で問題・課題になっていること、改善・解決すべきことは何でしょうか？</p> <p>プロジェクトの他の分野との連携・調整はどのように取っておられますでしょうか？ どのような問題があるでしょうか？ 問題の解決のためにはどうすればよいでしょうか？</p>	
その他	<p>その他、何か、この中国太湖水環境修復モデルプロジェクトに対する意見がございましたら、お願いたします。</p>	

中方のプロジェクト統括責任者への質問票(案)：中国太湖水環境修復モデルプロジェクト 運営指導調査(中間評価)－評価団員 陸衛軍

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	質問	ご回答	
実績	上位目標の達成度(見込み)	太湖流域への開発技術の普及整備率	普及整備率の計算式を教えてください。また、達成の見通しについてはいかがでしょうか？	この普及率について計算の公式がない。また当初この普及率の提出の根拠が足りないし、2010年まで当初設定した全体目標に達することができない。	
		開発された高度処理浄化槽の技術ガイドラインの完成度(技術的完成度。経済性)	開発された技術が10%普及整備された場合、太湖への窒素、リンの流入負荷はどの程度削減される見通しでしょうか？	10%普及されることについて、その概念がはっきりしていないので、正確に評価できない。	
	プロジェクト目標の達成度(見込み)	開発された高度処理浄化槽の技術ガイドラインの完成度(技術的完成度。経済性)	「高度処理浄化槽の技術ガイドラインの評価表」は、いつ誰がどのようなものを作成するのでしょうか？それとも既存のものを利用するのでしょうか？その評価表を使って、実際にはどのように評価するのでしょうか？ガイドラインの完成度について、数量的に表現することは可能でしょうか？また、達成の見込みについてはいかががお考えですか？	中級実験が完成された後、中日の技術チームより+F11共同で評価表を作成すべきである。実際の作業において、浄化槽性能評価装置を利用して各機種の浄化槽について性能評価を行うべきである。技術ガイドラインの完成度を数量的に表現する意味は余りない。	
		対象地域の自然・社会・経済状況に適合しかつ活用・普及可能な対策技術	「対象地域の自然・社会・経済状況に適合しかつ活用・普及可能な対策技術」と言った場合に、これは浄化槽だけでなく生態工学浄化技術等との組合せを含めた対策技術モデル(群)の提示を意味しているのでしょうか？それとも、ほとんど浄化槽だけを意味しているのでしょうか？	総合的な汚染防止・制御技術である。太湖流域においては、色んな汚染・制御対策を組み合わせ、また点源と非点源汚染の排出に関する制御と合わせてやって行かなければ、汚染制御の目標に達することができない。本プロジェクトにおいてもこの二つの技術を合わせてやるべきである。	
		関連行政機関・施設における、開発された対策技術(高度処理浄化槽と生態工学浄化技術)の認知度	総合的に見て、「対象地域の自然・社会・経済状況に適合しかつ活用・普及可能な対策技術」の開発の見込みはいかがなんでしょうか？	このような対策技術を開発することは、太湖流域なりの特定地区に対しては比較的に対応しいが、他の地域まで普及できるかどうかについて、実験と運転を通して更に論証する必要がある。	
		「認知度」は何に関してどのような尺度で測ったらよいとおっしゃいますか？数量的にはどのように表現されるのでしょうか？また、達成の見込みについてはいかががお考えですか？	認知されるかどうかについて実験と運転の結果によること。測り方としては、この技術が将来的にこの地域及び他の地域での普及度がどうなっているかによること。数量的に表現するのが難しい。		
	成果(アウトプット)の達成度	成果1	対象地域の社会に適合する高度処理浄化槽の窒素・リン除去性能の所要の性能に対する満足度(費用の妥当性等を含む)	開発された技術の性能及び費用の妥当性に関する分析結果を教えてください。費用に関しては普及可能な妥当なものになる見込みででしょうか？	BOD・CODの処理装置と較べると、運転と維持管理費用が高いため、他の地域で普及しにくい。
			その他のこのプロジェクトの浄化槽分野における技術開発の成果	その他のこのプロジェクトの浄化槽分野における技術開発の成果としてどのようなものがあるか、箇条書きで要点を教えてください。	浄化槽性能評価装置の開発
		成果2	情報が整理された生態工学技術の事例引用による評価(削減率・費用等)	生態工学技術の削減率・費用等に関する評価結果はいかがでしょう？あるいはどのようなものになる見込みででしょうか？	この分野の事業は取りやめになった。
			情報が整理された生態工学技術資料の整備度合い	生態工学技術資料はどの程度整備され、今後どの程度整備される見込みででしょうか？	—
			その他のこのプロジェクトの生態工学分野における資料収集・分析の成果	その他のこのプロジェクトの生態工学分野における資料収集・分析の成果があれば、箇条書きで要点を教えてください。	—
		成果3	学会発表・報告書等の数、論文数	いくつの達成が見込まれているのでしょうか？またその質についてはどのように評価されているのでしょうか(見込みも含めて)。	今まで、22の論文や報告書が発表され、また30以上が発表する見込みがある。
その他のこのプロジェクトのマイクロバブル分野における研究成果	その他のこのプロジェクトのマイクロバブル分野における研究成果としてどのようなものがあるか、箇条書きで要点を教えてください。		—		

評価項目	調査項目		必要な情報・データ	質問	ご回答	
実績	成果(アウトプット)の達成度	成果4	関係機関・関係者への技術紹介及び環境教育の回数、参加対象者と人数、及びそれに対する参加者の評価	これらに関する具体的な情報をまとめたものをください。	環境教育に関する総括報告書が別途にある。	
			その他のこのプロジェクトの技術普及活動分野における成果	その他のこのプロジェクトの技術普及活動分野における成果としてどのようなものがあるか、箇条書きで要点を教えてください。	—	
	投入の実績	中国側	C/Pの配置	効率性の項で聞きます。	効率性の項で聞きます。	中国側は24名のC/Pと10名以上の兼任職員を配置し、江蘇省環保庁及び管轄下の機関は、皆このプロジェクトの技術サポート機関である。
			委員会・定例会議(合同調整委員会、運営委員会、ワーキンググループ定例会議)			7回の合同調整委員会を行い、またワーキンググループ会議を非定期的に行った。
			運営経費			江蘇省から80万元経費を配置し、既に全部使われた。中国環科院から200万元を配置した。
			施設設備(研究実験地、実験室(必要な電気容量)、専門家執務室、太湖プロジェクト推進室、会議室)			中国側は十分の研究実験地、専門家執務室、プロジェクト推進室と会議室を配置した。
			その他(通訳、事務要員の配置)			中国側は専任と兼任の通訳と事務員を配置した。
			長期専門家			日本側は6名の長期専門家を派遣した。その内、4名の滞在期間が長い、2名の滞在期間が短い。
		短期専門家	多いので、統計しにくい。			
		研修員受入	今まで10名の研修者を受け入れ、研修期間は合計84か月である			
機材供与		五機種12台の浄化槽及び関連のパソコン処理システムや水質分析計、観測と測定計のほか、車などの関連ものを供与した。				
現地コスト負担						
実施プロセス	活動の実施状況	協力実施のプロセス(計画立案段階及び実施段階)	活動の進捗において、遅れている活動とその理由、経緯、背景について教えてください。	プロジェクト全体が送れている。SARSの影響が主な原因と考えられ、中国側の予算不足も重要な要素である。		
		当初計画の変更点とその理由、背景	当初計画の変更点とその理由、背景を教えてください。	植生水路事業と湖中湖事業が取りやめになり、セミナーになった。前者の費用が高すぎ、後者は中国の水利規制に合わないし、費用も高い。		
		プロジェクトの進捗状況	「活動状況表」を作成いただいで、その上で質問させていただきます。			
	プロジェクトの運営・実施体制	プロジェクトの運営・実施体制とその意思決定過程、責任分担。それらの変更点(浄化槽、生態工学、マイクロゾム、技術普及活動の各分野について)	運営・実施体制(日中友好環境保全センターも含む)とその役割・責任分担、意思決定過程について教えてください。当初計画との変更点は何でしょうか？また現在における問題点は何でしょうか？なぜ日中友好環境保全センターはこのプロジェクトにおいて機能していないのでしょうか？実施関係機関の間はどのようにすればよりうまく調整されるのでしょうか？	中日友好環境センターはプロジェクトの最初段階に参加したが、その後予算の制限で基本的に参加しなかった。問題としては、実施において作業に関する連続の考えがない、C/P間のコミュニケーションが足りない、各協力方面の役割が明確になっていない、作業関係が好都合に運んでいない。このような国際協力プロジェクトとして、関連機関が目標を一致し、役割をはっきりし、利益を共に享受してこそ、有効に調整ができる。		
		モニタリングの実施状況	モニタリングの仕組み	合同調整委員会や運営委員会、ワーキンググループ会議では、実際にどのようなことが問題点・課題として解決が図られたのでしょうか？	非定期に会議を行い、プロジェクト実施中の問題を解決する。例えば、浄化槽の性能評価装置、湖中湖技術、植生水路等。	
	外部条件の変化への対応		外部条件に変化があった場合に、どのように対応されてきたのでしょうか？	プロジェクトの実施内容乃至目標を修正する。		
	フィードバックの状況		モニタリングに基づいて、問題は実際に解決しましたでしょうか？	基本的に解決した。		
	JICA本部・在外事務所・国内支援組織の機能		それぞれ充分なプロジェクト支援機能を発揮していますでしょうか？	発揮している。		
	専門家間及びC/Pとの関係	コミュニケーションの状況	コミュニケーションは、何が問題で、その原因は何でしょうか？	問題がないが、現場の通訳が足りない。		

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	質問	ご回答
実施プロセス	ターゲットグループの事業へのかかわり方	関係機関・関係者のプロジェクトにかかわる参加状況	C/Pは十分にプロジェクトに参加しておりますでしょうか？参加が充分でない場合、何が制約・阻害要因として考えられるでしょうか？	参加しているが、大多数のC/Pは兼任なので、時間的には十分ではない。
			プロジェクトはターゲットグループに対して十分な働きかけをしておりますでしょうか？働きかけが充分でない場合、何が制約・阻害要因として考えられるでしょうか？	していない。プロジェクトがまだ終わっていないので、その効果はまだ出ていない。
	相手国実施機関の事業へのかかわり方	国家環境保護総局、中国環境科学研究院、江蘇省環境保護庁、無錫環境保護局の参加の度合い	国家環境保護総局、中国環境科学研究院、江蘇省環境保護庁、無錫環境保護局の参加の度合いはそれぞれいかがでしょうか？	各部門は積極的にプロジェクトに参加しており、プロジェクトの進行のためによい役割を發揮した。
		予算の手当て	国家環境保護総局、中国環境科学研究院、江蘇省環境保護庁、無錫環境保護局の予算の手当ては充分でしょうか？実績額と今後の見通しも教えてください。	国家環境保護総局の予算はない、中国環境科学研究院はマイクロズム装置のために200万円を投入した、江蘇省環境保護庁は40万円を投入した、無錫環境保護局は40万円を投入した。今後、江蘇省環境保護庁と無錫環境保護局から各20万円の投入予算があるが十分ではない。特に浄化槽装置の試験と運転費用の方はとても不足である。
	C/Pの適正度	国家環境保護総局、中国環境科学研究院、江蘇省環境保護庁、無錫環境保護局のC/Pの数および質は適正でしょうか？	C/Pの数および質は適正である。	
1. 妥当性	上位目標及びプロジェクト目標の中国環境政策との整合性	中国環境政策との整合性	関連する環境政策の該当部分の原文及び可能であれば日本語訳をいただけますでしょうか？	できるが関連する文書や法規、基準などは日本語ではないものがある。
	ターゲットグループの選定の適切さ	ターゲットグループにおけるプロジェクト内容に関するニーズの高さ	ターゲットグループにおいて、プロジェクト内容に関するニーズは高いでしょうか？どのようにターゲットグループのニーズとプロジェクト内容が整合しているか、あるいは整合していないか、教えてください。	プロジェクト内容とターゲットグループのニーズが整合している。
		ターゲットグループの規模は適切か	ターゲットグループの規模は適切でしょうか？	??
	上位目標と日本の開発援助政策との整合性	日本の国別援助方針(援助重点課題)、国別事業実施計画との関連性	—	
	プロジェクトデザインの手段としての妥当性	プロジェクトの目的・対象・手段(活動)・指標・タイムスケジュールの適切さ	プロジェクトの目的・対象・手段(活動)・指標・タイムスケジュールにおいて、当初計画で適切さを欠いていたのは何でしょうか？	プロジェクトの目的が明確になっており、対象が適切であり、手法が妥当であるが、目標としては高すぎる嫌いがある。
		水環境の富栄養化防止のための他のモデル手法	中国における水環境の富栄養化防止のための他のモデル手法があれば、それと比較してこのプロジェクトデザインは妥当でしょうか？	例えば湖沼への泥の浚渫、水の調整、汚染の塞き止めなど技術手法がある。いずれにしても汚染の塞き止めがカギとなっている。
		他の援助機関との関係、先行している技術開発研究成果の活用	他の援助機関と協力し、先行している技術開発研究成果が活用できるようなプロジェクトの仕組みになっていますでしょうか？	そうなっている。
		効果の受益や費用負担の公平さ	C/Pやターゲットグループにおいて、効果の受益や費用負担の公平さは保たれていますでしょうか？	このプロジェクトとしては政府から予算をもらっているため、効果の受益と費用負担のバランスが取れていない。
		ターゲットグループ以外への波及性	開発する技術の普及可能性については、計画実施前に充分検討されましたでしょうか？	技術がまだ開発されていない。普及のために充分検討する必要がある。
	日本の技術の優位性	プロジェクト内容に関し、中国や諸外国と比較して日本の技術の優位性はありますか？生態工学の分野においては中国と比べてあまり比較優位がなかったということなのでしょうか？	二つの技術が優位性を持っているが、全体から見れば運転の維持管理費用が高すぎる。	

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	質問	ご回答
2. 有効性	プロジェクト目標の達成度	実績の項と同じ		
	プロジェクト目標と成果の関連(各成果の貢献度合い)	高度処理浄化槽の実用化技術の開発のプロジェクト目標達成への貢献度	高度処理浄化槽の実用化技術の開発のプロジェクト目標達成への貢献度はいかがでしょうか？	地元乃至全中国に適した浄化槽技術をなるべく早く開発する。
		生態工学浄化技術活用のための情報整理のプロジェクト目標達成への貢献度	生態工学浄化技術活用のための情報整理のプロジェクト目標達成への貢献度はいかがでしょうか？	—
		マイクロゾムの実験研究のプロジェクト目標達成への貢献度	マイクロゾムの実験研究のプロジェクト目標達成への貢献度はいかがでしょうか？	—
	外部条件等の影響	目標達成を妨げた要因、促進した要因	目標達成を妨げた要因、促進した要因にはどのようなものがあるでしょうか？	セミナーを開催し、技術基準を作成するなど。 目標が高すぎるし、基礎資料が足りないし、十分調査研究していない。
3. 効率性	成果(アウトプット)の達成度	実績の項と同じ		
	日本側投入の適正度	専門家派遣(人数、タイミング、分野。人材の適正度)	専門家派遣はタイミング、分野、人材の適正度、引継ぎにおいてスムーズにいきましたでしょうか？	適正であり、スムーズに行っている。
		供与機材(種類、数、タイミング。供与機材の適正度)	供与機材は種類、数、タイミング、供与機材の適正度において、スムーズにいきましたでしょうか？	スムーズに行っている。
		研修員受入れ(研修内容、人数、タイミング。研修員の能力やニーズ、プロジェクト内容との合致度)	研修員受入れは、研修内容、人数、タイミング。研修員の能力やニーズ、プロジェクト内容との合致度においてスムーズにいきましたでしょうか？	スムーズに行っている。
		調査団派遣(目的と活動、人数、タイミング)	調査団派遣はそれぞれの目的と活動、タイミングにおいてスムーズにいきましたでしょうか？	スムーズに行っている。
		現地コスト(額、使途、タイミング)	現地コストは額、使途、タイミングにおいて、適切だったでしょうか？	適正であるが、中国側のC/Pに用いる額が少ない。
	中国側投入の適正度	C/Pの配置(人数、タイミング、分野。配置の適正度、配置された人材の適正度)	最新のC/Pの配置表をください。C/Pは、人数、タイミング、分野、人材の適正度において、配置が適切でしたでしょうか？また当初の配置と比べて変更があれば、どの部分がどのようにいつなぜ変更されたのかを教えてください。	適正であるが、中国側のC/Pは殆ど兼任している。中国側のC/P配置はあまり変更がない。
		委員会・定例会議(合同調整委員会、運営委員会、ワーキンググループ定例会議)	メンバー構成、開催日と開催回数、主要な協議・決定事項について、情報をまとめたものをください。	会議の議事録を参照する。
		プロジェクトのための経常費・研究費とその内訳	足りないのは主にどの部分で、いくらぐらいの不足なのでしょうか？今までの支出実績と今後の見通しも教えてください。	—
		施設設備(研究実験地、実験室、必要な電気容量、専門家執務室、太湖プロジェクト推進室、会議室)	必要充分でしょうか？	十分である。
		その他(通訳、事務要員の配置)	なぜ十分な配置が得られていないのでしょうか？	十分ではない。例えば現場の通訳がいない。
	投入の活用度	人材(特に帰国C/P研修員の動向、貢献度)	C/Pのプロジェクトへの協力の熱意や実際にそれに費やしている時間については、いかがお考えでしょうか？	兼任が多くそれに利益がないので、参与の熱意に影響する。
帰国C/P研修員の配置転換はありましたでしょうか？各研修員は、それぞれプロジェクトにおいて研修後どのように貢献していますでしょうか？			配置転換がない。全てプロジェクトに参加している。	
供与機材や施設設備の利用状況		供与機材や施設設備は、十分に利用されている/しているでしょうか？	その通り	

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	質問	ご回答
3. 効率性	コスト面での効率性	成果/コスト(投入)、プロジェクト目標の達成度/コスト(投入)	より低いコストで成果やプロジェクト目標を達成する代替手段はなかったでしょうか？あるいは、同じコストでより高い達成度を実現することは出来なかったでしょうか？	まだない。
		類似のプロジェクトのコスト面での効率性	成果とプロジェクト目標の達成度はコスト(投入)に見合っているでしょうか？それは他のドナーや中国政府の類似プロジェクトと比較してどうでしょうか？	大体見合っているが、機関が長すぎる。
	外部条件、前提条件等の影響(成果達成を妨げた要因、成果達成を促進した要因)	成果達成を妨げた要因、促進した要因	成果達成を妨げた要因、促進した要因にはどのようなものがあるでしょうか？	基礎資料が足りない、外部の要素(汚染の削減)が大きく変わらない。
4. インパクト	上位目標の達成度	実績の項と同じ		
	正の影響(ターゲットグループ以外へのプロジェクトの投入・活動・成果等の便益の広がり、ターゲットグループへのプロジェクトの間接的な便益の広がり)	政策への影響	太湖水汚染防止5ヵ年計画や2010年長期計画に対する技術的なサポートは、どの程度できる見込みでしょうか？また、その他の政策に正の影響を与える見込みはありますか？	影響がある。今のところでは定量的に見込むことができない。
		制度的影響	開発・提案する高度合併処理浄化槽および生態工学はどのように制度化(プロジェクトで提案された基準が省や全国単位で適用)される見通しでしょうか？	強制的に実施する可能性がないが、最適化ができる。
		社会的影響	太湖周辺住民の水環境保全に対する意識および自発的な汚濁防止のための住民活動は、プロジェクトの影響で向上・促進しておりますでしょうか？その見通しはいかがでしょうか？また、太湖への窒素、リンの流入負荷が削減されることによって、地域住民にとってどのような裨益が期待されるのでしょうか？広報的な面で水環境保全の重要性と技術的な解決の取り組み、その可能性について広範に知らしめる見込みについてはいかがでしょうか？	ある程度影響している。水質の改善によって環境の質と住民の環境レベルを高め、投資の効果を高めることができる。ただし、広報が必要であり、積極的にやるのが重要である。
		技術的影響	予想しなかった技術的なよい影響というのはありますか？	なし
		経済的影響	水質改善に伴う経済効果および現在の下水処理施設よりも安価な施設や設備が開発された場合の経済効果については、どの程度見込めますでしょうか？	技術性を普及・利用する。
		組織的影響	実施組織の体制や研究活動の活発度への間接的影響や構築された人的ネットワークなどについてはいかがでしょうか？	今後の類似の国際協力プロジェクトと研究を促進する役割がある。
	予想しなかった負の影響	政策への影響、実施組織の体制や研究活動の活発度への間接的影響、ターゲットグループ以外へのプロジェクトの投入・活動・成果等の不利益や不公平さの広がりなど	予想しなかった政策への負の影響、実施組織の体制や研究活動の活発度への間接的な負の影響、ターゲットグループ以外へのプロジェクトの投入・活動・成果等の不利益や不公平さの広がりなどはありますか？今後ありうるでしょうか？	なし
外部条件等の影響	上位目標到達を妨げた要因、促進した要因	上位目標到達を妨げた要因、促進した要因にはどのようなものがあるでしょうか？	ある分野に意見の食い違いがあり、例えば浄化槽性能評価装置の開発について、双方の論争が半年以上になり、プロジェクトの進行に影響している。	
波及効果	他の水環境富栄養化防止への技術・情報等の波及	他の湖沼への普及や、経済基盤の弱い他の発展途上国に应用される見込みはいかがでしょうか？	プロジェクト完了後の技術開発の成果によって決める。もし技術を利用する場合コストが高すぎるなら、経済の基盤が弱い地域において、技術がいくら優れても普及しにくい。	

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	質問	ご回答
5. 自立発展性	政策的支援体制の整備	関連規制、法制度、監督組織、普及組織の整備状況	関連規制、法制度、監督組織、普及組織の整備状況と今後の見通しはいかがでしょうか？	普通
		太湖水汚染防止5か年計画と2010年長期計画	太湖水汚染防止5か年計画と2010年長期計画は予定通り予算計上され、活動が行われているのでしょうか？その成果はいかがなのでしょうか？	予算が足りない。
	移転した技術の定着と活用の仕組み	C/Pの定着度	技術移転したC/Pの定着度についてはいかがでしょうか？	基本的に安定しており、プロジェクトに参加しているし、勤め先で仕事している。
		施設・機材の維持管理費	機材を適切に維持管理していくために、センターには十分な能力は養成されましたでしょうか？	??? どのセンターか？江蘇省環境経済技術国際合作センターにはこのような能力をもっていない。地元の関係部門或いは専門の業者に依頼すべきである。
		移転した技術の定着と活用の仕組み	移転した技術の定着と活用の仕組みは充分整っているでしょうか？	整っている。
	開発された技術の普及・発展の可能性	技術的・経済的・社会的・文化的・環境的な側面からの普及可能性	技術的・経済的・社会的・文化的・環境的な側面からの普及可能性はいかがでしょうか？	最後の結果によって定める。
		普及のメカニズムの確立の見通し	普及のメカニズムの確立の見通しはいかがでしょうか？	普及できるかどうかは、まだ分からない。
		浄化槽の製造企業の製造能力、実績	浄化槽の製造企業の製造能力、実績は、普及の一翼を担うに足るものでしょうか？	今、製造企業に関して調査している。
	持続的効果	持続的効果の発現要因と阻害要因	その他、何か持続的効果の発現要因と阻害要因がありますでしょうか？	まだ見つけていない。